

年刊

# まちづくり読本

～ 平成26年度 決算説明書 ～



町内史跡めぐり  
場所：アートの森



新十津川町



---

## 町民のみなさまへ

---

日ごろから、町民のみなさまには町政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

町では、第5次総合計画に定めた目指すまちの将来像「豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創る いきいき未来」の実現のため、毎年多くの事業に取り組んでいますが、今年もこれらの事業の実施結果を分かりやすくまとめた『まちづくり読本決算版』を作成しました。

平成26年度の主な事業を紹介しますと、生活基盤の充実では、人口減少抑制策として、町内に住宅を新築または取得した方への助成制度を設けました。昨年度は、新築住宅13件、中古住宅6件に助成を行い、61人の定住が図られました。

健康づくりでは、健康増進への意識啓発のための健康教室、健康レシピ配布など食生活に関する情報提供、ウォーキングの推進などを行い、町民の主体的な健康づくりを支援しました。

観光の振興では、まちのPRやイメージアップのため公募していた、まちの観光キャラクターに「とつかわこめぞー」が決定しました。天候も良く、多くの来場者で賑った雪まつり会場においてお披露目することができました。

安全で安心なまちづくりでは、地域の共助力を高めるために住民を対象とした防災力強化セミナーを開催したほか、災害時の要支援者・避難支援者台帳を更新し、関係機関と情報の共有を図り安心なまちづくりの推進に努めました。

このほかにも本冊子には、まちづくりの目標に基づいて実施した多くの事業や町の財政状況なども掲載しておりますので、是非ご一読いただきたいと思います。

今後も、第5次総合計画に基づき、町民のみなさまと情報の共有を図りながら、共に考え、共に力を合わせてまちづくりにまい進したいと考えておりますので、一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成27年10月

新十津川町長 熊田 義信

## 目 次

序 章	決算概要	3
	財政指標	6
<b>1. みんなでつくる住みよいまち</b>	①環境の保全	8
	②生活基盤の充実	10
	③交通環境の充実	11
<b>2. みんなでつくる健やかなまち</b>	①児童福祉の充実	17
	②障がい者福祉の充実	19
	③高齢者福祉の充実	20
	④健康づくりの推進	22
	⑤医療環境の充実	24
<b>3. みんなでつくる豊かなまち</b>	①農業の振興	29
	②林業の振興	30
	③商工業の振興	31
	④観光の振興	31
<b>4. みんなでつくる安心なまち</b>	①消防・救急体制の充実	36
	②防災体制の充実	36
	③生活安全体制の充実	37
<b>5. みんなでつくる学びのまち</b>	①学校教育の充実	40
	②社会教育の充実	42
<b>6. みんなでともに歩むまち</b>	①住民参加の促進	47
	②行政の効率的な運営	49
<b>資 料 編</b>	公共施設等 電話番号・FAX番号	53
	乗合タクシー・ワゴンのご利用案内	54

決 算 概 要  
財 政 指 標

# 決算概要

## (1) 総括

平成26年度の決算総額は、収入が70億4645万円、支出が68億3270万円となり、全ての会計で赤字はありませんでした。

各会計の決算額は、次のとおりです。

会 計		予 算 額	収 入	支 出	差 引
一 般 会 計		64億2705万円	63億5512万円	61億4236万円	2億1276万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	3億8226万円	3億8254万円	3億8160万円	94万円
	後期高齢者医療特別会計	1億 357万円	1億 272万円	1億 267万円	5万円
	下水道事業特別会計	1億7722万円	1億7572万円	1億7572万円	0万円
	農業集落排水事業特別会計	3084万円	3035万円	3035万円	0万円
合 計		71億2094万円	70億4645万円	68億3270万円	2億1375万円

## (2) 一般会計の収支状況

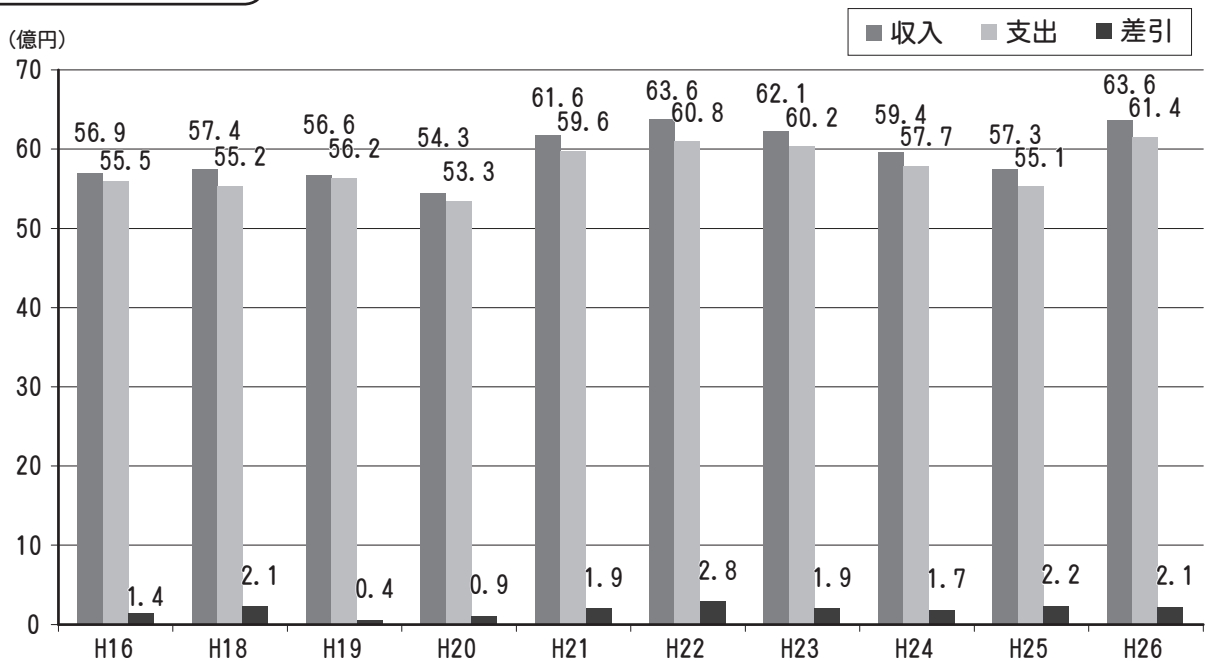
一般会計は、2億1276万円の黒字となりました。

過去10年間、毎年黒字となっており、この間の黒字額の合計は約18億5千万円です。

このお金は、翌年度へ繰り越して使ったものもありますが、それ以外はすべて町の貯金に積み立てています。

過去10年の収支の推移は、次のとおりです。

一般会計の収支の推移



【歳入】一般会計の収入の内訳は、次のとおりです。

項 目		平成25年度	平成26年度	H26 - H25
依存財源	地方譲与税など	2億1278万円	2億852万円	△426万円
	地方交付税	33億542万円	31億7784万円	△1億2758万円
	国庫支出金	3億4791万円	3億2794万円	△1997万円
	道支出金	3億7848万円	4億1391万円	3543万円
	町債	5億3708万円	12億2267万円	6億8559万円
自主財源	町税	6億148万円	5億8017万円	△2131万円
	分担金及び負担金	2940万円	9411万円	6471万円
	使用料及び手数料	1億3990万円	1億3167万円	△823万円
	財産収入・諸収入など	1億7587万円	1億9547万円	1960万円
	繰入金	459万円	282万円	△177万円
合 計	57億3291万円	63億5512万円	6億2221万円	

依存財源とは、国や北海道から受けるお金や借金のことを、自主財源とは、まちが直接受けるお金のことをいいます。

自主財源の割合は15.8パーセントとなっており、大部分の収入を依存財源に頼っている状況です。ただし、依存財源の大部分を占める地方交付税は、全ての市町村が一定水準以上の行政サービスを行うために必要なお金として、国で集めた税金が地方に配分されるもので、地方公共団体固有の財源として自由に使えるお金ですので、「依存財源の割合が高いからまちの財政が厳しい」ということではありません。

【歳出】一般会計の歳出の内訳は、次のとおりです。

項 目	平成25年度	平成26年度	H26 - H25
総務費	8億4082万円	4億5439万円	△3億8643万円
民生費	5億9552万円	6億6008万円	6456万円
衛生費	4億6843万円	4億6252万円	△591万円
農林水産業費	3億480万円	14億2787万円	11億2307万円
商工費	1億7001万円	1億7093万円	92万円
土木費	6億1486万円	5億6246万円	△5240万円
消防費	1億9861万円	1億9834万円	△27万円
教育費	3億6464万円	5億1569万円	1億5105万円
公債費	10億3215万円	7億9312万円	△2億3903万円
職員費	8億5933万円	8億2645万円	△3288万円
議会・労働・災害復旧費	6505万円	7051万円	546万円
予備費	0万円	0万円	0万円
合 計	55億1422万円	61億4236万円	6億2814万円

総務費が減少したのは、平成25年度に、公共施設の維持更新に必要なお金を準備するための基金への積立額を大きく増やしていたためです。農林水産業費が大きく増加したのは、国営樺戸地区土地改良事業の完了に伴い、町の負担金を一括償還したためです。教育費が大きく増加したのは、給食センターの増築や開拓記念館の大規模改修をしたためです。公債費（借金の返済）が減少したのは、繰上償還額が減ったためです。

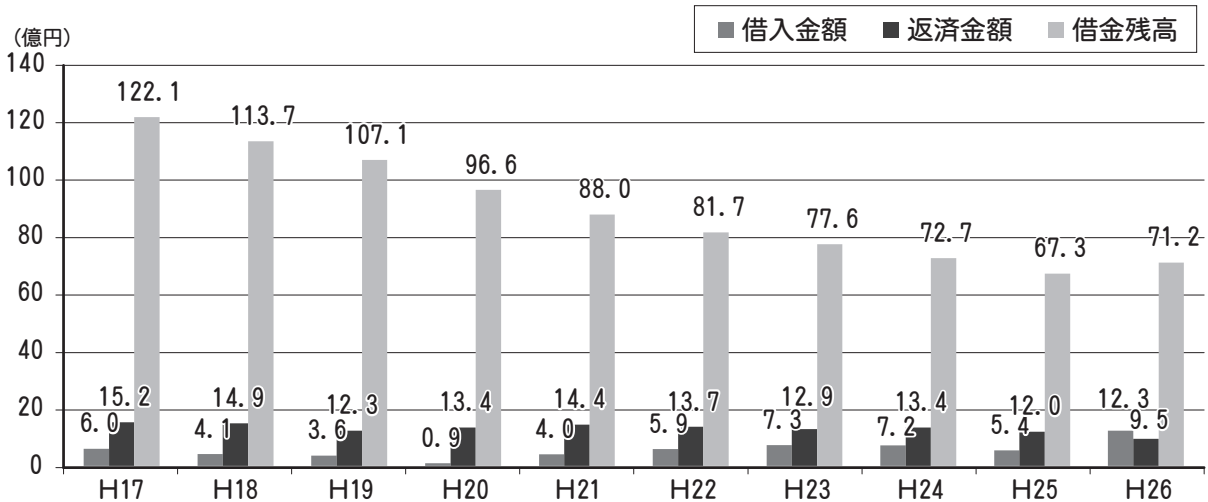
### (3) まちの借金

まちの収入には多くの借金が含まれています。しかし「財政状況が苦しいから借金に頼っている」ということではありません。市町村が借金をする場合、その返済金の一部を国が普通交付税によって補填してくれるという仕組みがあります。まちの実質的な負担が少なくなるよう、この仕組みを利用して、毎年借金をしています。

もちろん、借金は少ないに越したことはありませんので、繰上償還などにより、できるだけ借金残高が少なくなるように努めています。

毎年の借入金額と返済金額（利子を含む）、借金残高の推移は、次のとおりです。

借入金額と返済金額、借金残高の推移



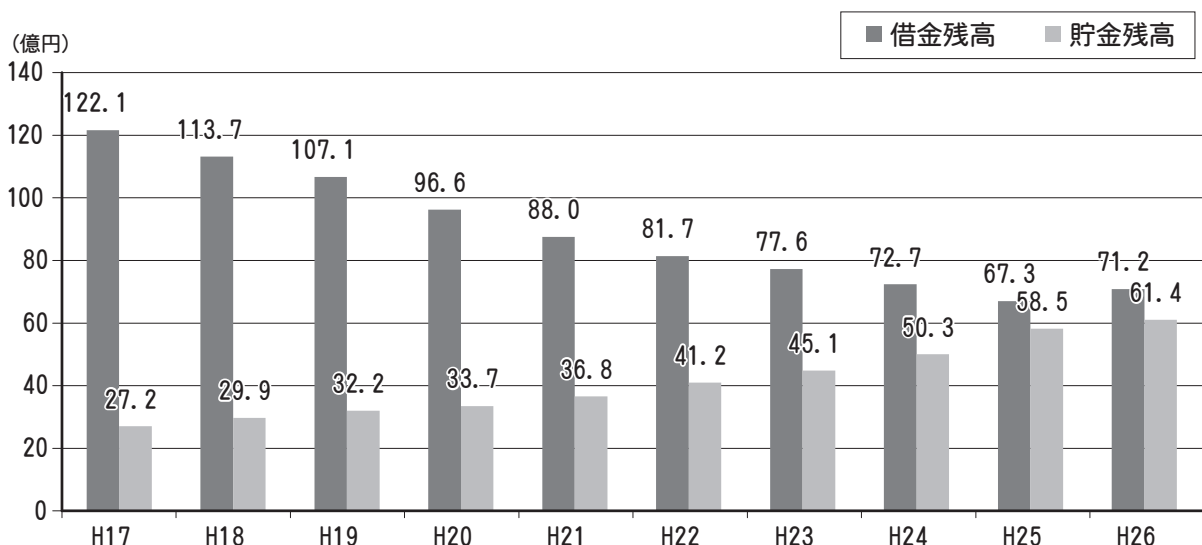
平成26年度は国営樺戸地区土地改良事業の負担金を一括償還するための大きな借入れがあったので、平成25年度と比較して借金残高は増えましたが、この10年間で見ると、約50億円減少しています。

### (4) まちの貯金

新十津川町の貯金残高は、平成26年度末（平成27年5月31日現在）で約61億4000万円になりました。毎年、着実に増やしており、借金の大部分を貯金だけで返すことができる状態になっています。

借金残高と比較した貯金残高の推移は、次のとおりです。

貯金残高の推移



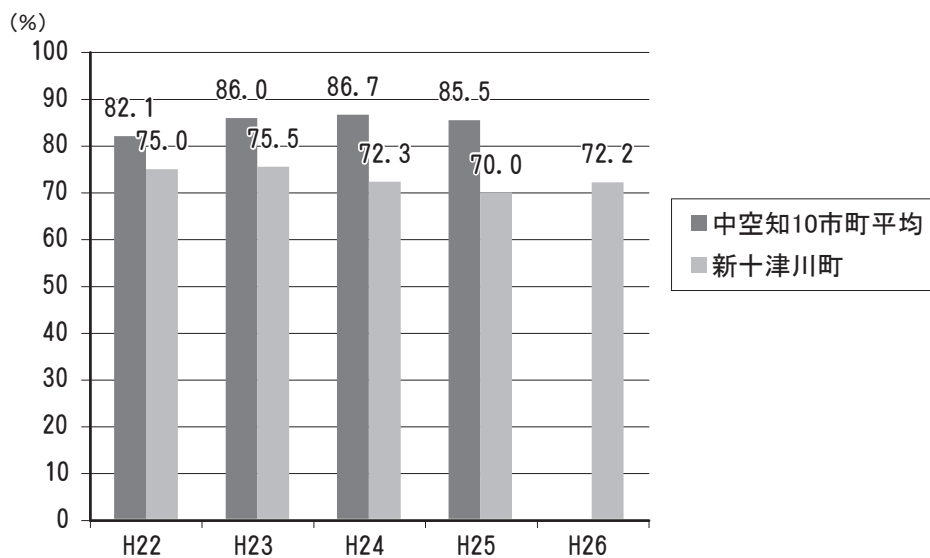
## 財政指標

市町村は、財政状況をチェックするための目安として、さまざまな指標を算定し公表することになっています。代表的な指標についてお知らせします。

### (1) 経常収支比率

普通交付税などのように、自由に使えるお金として毎年入ってくる収入に対し、人件費や借金の返済金のように毎年決まって支払わなければならない支出がどれくらいあるのかを表す指標です。比率が高くなるほどに自由に使えるお金が少なく財政が硬直化していると言えます。中空知10市町の平均と比較してみましょう。

#### 経常収支比率



中空知10市町とは、芦別市、滝川市、赤平市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、雨竜町、新十津川町です。平成26年度は、本書作成時点で他市町の状況が未公表のため、新十津川町のデータのみ掲載しています。

中空知10市町の平均より低い（良好な）値で推移しています。

### (2) 健全化判断比率

自治体は、財政の健全性を示す指標として、一般会計の赤字額の規模を表す「実質赤字比率」、全会計の赤字額の規模を表す「連結実質赤字比率」、借金の返済額が大きすぎないかをチェックするための「実質公債費比率」、将来に残す借金が大きすぎないかをチェックするための「将来負担比率」の4指標からなる健全化判断比率を算定し公表しなければなりません。平成26年度の比率は、次のとおりです。

(単位：%)

健全化判断比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
新十津川町	赤字はありません。	赤字はありません。	2.3	借金に充てることのできる貯金などの財源が、借金を上回っています。
早期健全化基準 (黄信号)	15	20	25	350
財政再生基準 (赤信号)	20	35	35	

新十津川町は、全て健全な水準です。

全ての比率は、低いほど財政状況が良いと判断されます。いずれかの比率が一定の基準を超えると、借金の借入れなど、財政運営上の制約がかけられます。

1

**みんなで作る  
住みよいまち**

## ① 環境の保全

### 省エネ・CO<sub>2</sub>削減対策

9万円

(担当：住民課住民活動グループ)

「新十津川町環境基本計画（平成22年度～31年度）」では、環境保全のために達成すべき目標を掲げ、住民、事業者、行政がそれぞれの役割で実行すべき行動計画を定めています。

この基本計画は、平成24年度で初期の3年を終え、平成25年度からの3年は計画の中期段階に入っています。平成25年度から3年間の行動計画では、初期の行動計画が見直され、新たに取り組む事業が盛り込まれました。

平成26年度は、地球温暖化防止に向け、家庭の省エネと家計節約に役立つ「うちエコ診断事業」に11人の受講があり、受講者に対し、省エネやCO<sub>2</sub>削減方法を提案しました。

※うちエコ診断事業とは

家庭のエネルギー使用料や光熱費などの情報をもとに、ライフスタイルに合わせて無理なくできる省エネ、CO<sub>2</sub>削減策を提案する事業です。

【環境基本計画の4つの基本目標（重点項目）】

- 森づくり・河川の保全
- 環境美化・ごみ減量・不法投棄防止
- 地球温暖化防止（CO<sub>2</sub>の削減）
- 環境学習・環境教育



### 環境を保全する活動

33万円

(担当：住民課住民活動グループ)

職員の環境保全に関する知識向上のため、研修会に参加しました。

また、蜂の巣駆除用の防護服を更新したほか、町の施設や敷地内で発生した蜂の巣を5件駆除しました。



### 危険空き家対策

3万円

(担当：住民課住民活動グループ)

危険空き家対策を進めるため制定した「新十津川町空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、「新十津川町空き家等対策審議会」を開催し、危険空き家の対策を検討しました。



## ごみ収集 3999万円

(担当：住民課住民活動グループ)

家庭から出されたごみの収集運搬や指定ごみ袋の作成を行いました。

新十津川町環境基本計画では、町民1人が1日に出すごみの量を平成31年度に695グラムにまで減らそうという目標を立てています。

平成26年度は722グラム(前年度771グラム)でしたので、目標達成には分別の強化を図り、ごみ減量に向けて取り組んでいくことが大切です。

行政としても、ごみの減量に向けてご家庭でできる取り組みなどを周知していきますので、今後も皆様のご協力をお願いします。

### <財源内訳>

ごみ袋販売代金	1242万円
資源売り払い収入	121万円
町の負担	2636万円

## 生ごみ処理機の購入助成 26万円

(担当：住民課住民活動グループ)

家庭から排出される生ごみを堆肥として有効に活用し、生ごみの減量化を図るため、処理機器を購入した方に費用の一部を助成しました。

平成26年度助成実績は、コンポスト容器37台、電気式生ごみ処理機3台です。



**ごみ減量!**



**堆肥として  
有効利用!**



## 埋め立て処理施設の管理 695万円

(担当：住民課住民活動グループ)

総進区にあるごみ埋め立て処理施設の維持管理を行いました。現在は、「リサイクリーン」で細かく砕かれた燃やせないごみと中空知衛生施設組合で処理された汚泥などを埋め立てています。

平成26年度は水処理の主力設備の修繕を行いました。

### <財源内訳>

ごみ処理業許可手数料	2万円
町の負担	693万円



## ごみ焼却施設運営 1730万円

(担当：住民課住民活動グループ)

平成25年度から稼働している、中空知、北空知管内14市町の共同運営による燃やせるごみの焼却施設「中・北空知エネクリーン(所在地：歌志内市)」の運営費を負担しました。

燃やせるごみは、いったん「リサイクリーン」に集められて圧縮された後、「中・北空知エネクリーン」に運ばれて焼却処理され、発電に利用されます。



## 火葬場施設の負担金 163万円

(担当：住民課住民活動グループ)

2市2町（滝川市・赤平市・雨竜町・新十津川町）で共同運営している火葬場施設「滝の川斎苑」の運営費を負担しました。



## 不法投棄ごみへの対策 26万円

(担当：住民課住民活動グループ)

不法投棄されたごみの処分を行いました。  
また、不法投棄抑制のための看板を新たに10枚作成し、各地に設置しました。



## ② 生活基盤の充実

### 公営住宅の維持管理 4430万円

(担当：建設課都市管理グループ)

公営住宅381戸の維持管理を行いました。

平成24年度に策定した町公営住宅等長寿命化計画により、橋本団地4棟の改善工事として屋根ふき替え、外壁塗装を行いました。

<財源内訳>

国の補助金	1317万円
使用料（家賃など）	1326万円
町の負担	1787万円



### 下水道の維持管理 2億607万円

(担当：建設課都市管理グループ)

町では中心市街地には公共下水道を、花月地域と大和地域の市街地には農業集落排水を整備し、その他の地区には合併処理浄化槽の整備を進めています。

平成26年度は、下水道施設の長寿命化を図るための計画を策定しました。

また、集落排水施設の点検整備と維持管理を行いました。

<財源内訳>

国の補助金	335万円
使用料	7187万円
町の負担	1億3085万円
（内 借入金	320万円）



## 定住の促進

3066万円

(担当：総務課企画調整グループ)

平成26年度から3カ年事業とし、人口減少の抑制を図り本町への定住を促進するため、町内に住宅を新築または取得した方を対象に、「住宅取得奨励金」を交付しました。

また、新聞への広告掲載や折り込み広告、看板の設置などで、助成制度のPRを行いました。

### <財源内訳>

町の負担 3066万円  
(内 借入金 2970万円)

### 【奨励金の交付実績】

物 件	申請者	件 数 (うち町内業者)	人 数	助成額	商品券 (中学生以下の子ども1人に対し15万円相当のふれあい商品券)
新築住宅	町民	5件 (2件)	14人	790万円	15万円分 (1人)
	転入者	8件 (1件)	26人	1390万円	150万円分 (10人)
中古住宅	町民	4件	16人	280万円	120万円分 (8人)
	転入者	2件	5人	200万円	30万円分 (2人)
合 計		19件	61人	2660万円	315万円分 (21人)

## ③ 交通環境の充実

### 地域公共交通の確保

1594万円

(担当：総務課企画調整グループ)

生活の足を確保することを目的に、町内各方面を運行している交通事業者に対して、運行費用の一部を助成しました。

平成25年4月から開始した徳富・総進方面を運行する乗合タクシーと、花月・砂川方面を運行する乗合ワゴンに対して、運行補助を行い、延べ3839人(494人増)の利用がありました。

新十津川町地域公共交通活性化協議会では、運行状況を把握しながら地域の皆さんにとってより良い公共交通となるよう協議しました。

また、バス待合所について、破損箇所の修繕を行いました。

### 【補助対象路線】

- 中央バス 滝川北竜線  
滝川浦臼線  
ふるさと公園線
- 乗合タクシー 徳富・総進方面
- 乗合ワゴン 花月・砂川方面

### 【地域公共交通活性化協議会負担金】

パンフレット・チラシ作成経費



## 町道改修の実施

1億1679万円

(担当：建設課土木グループ)

平成26年度は、次の道路の整備を行いました。

- ①西2線道路改築舗装工事（平成20～26年度）
  - ・全体計画：南4号線から南13号線まで
  - 工事区間：南8号線から南10号線まで
  - 工事内容：舗装仕上げ 延長780m  
道路改築 延長50m
- ②西1線舗装補修工事（平成24～26年度）
  - ・全体計画：南5号線から南11号線まで
  - 工事区間：南6号線から南7号線まで
  - 工事内容：舗装の部分打替え 延長373m
- ③北8号線舗装補修工事（平成25～27年度）
  - ・全体計画：国道275号線から北8号線まで
  - 工事区間：北6号線から大和北7号線まで
  - 工事内容：舗装1層の上乗せ 延長550m
- ④南中央団地道路舗装補修工事（平成25～27年度）
  - ・全体計画：南中央1号通り、南中央2号通り  
南中央1条通り、南中央2条通り、  
南中央4条通り
  - 工事区間：南中央2号通り、南中央4条通り
  - 工事内容：舗装1層の上乗せ 延長216m  
箱型側溝 延長56m
- ⑤みどり団地内道路舗装補修工事（平成24～26年度）
  - ・全体計画：北1線他団地内道路
  - 工事区間：北1線から東側
  - 工事内容：舗装1層の上乗せ 延長1785m
- ⑥錦野団地内道路改修工事（平成26～27年度）
  - ・全体計画：錦野1号通り他団地内道路
  - 工事区間：錦野1号通り、錦野2号通り、  
錦野1条通り
  - 工事内容：舗装1層の上乗せ 延長270m  
箱型側溝 延長642m

### <財源内訳>

国の補助金 2450万円  
町の負担 769万円  
町の負担 9229万円  
(内 借入金 8460万円)

## 橋りょう修繕の実施

5027万円

(担当：建設課土木グループ)

町内135カ所に架かっている橋は、適切な時期に修繕を行うことで、長期間安全に使用することができ、経費の削減にもつながります。

新天津川町橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的に修繕を行い、橋りょうの健全化に努めました。

平成26年度は、次の道路橋の補修と補修設計を行いました。

- ⑦南幌加橋補修工事（平成26～28年度）
    - ・全体計画：既設護岸補強、伸縮装置交換  
高欄・排水管補修
    - ・平成26年度の実績  
橋長：54.0m  
幅員：5.0m  
工事内容：既設護岸補強
  - ⑧清仁橋補修工事（平成26～28年度）
    - ・全体計画：既設橋台補修、伸縮装置交換  
橋面防水塗装、防護柵交換
    - ・平成26年度の実績  
橋長：7.3m  
幅員：4.5m  
工事内容：既設橋台補修、防護柵交換
- 補修設計業務
- ⑦南幌加橋 橋長：54.0m
  - ⑧清仁橋 橋長：7.3m
  - ⑨第1樺戸橋 橋長：16.3m
  - ⑩岡野橋 橋長：27.6m
  - ⑪夢色の橋 橋長：111.2m

### <財源内訳>

国の補助金 3140万円  
町の負担 1887万円  
(内 借入金 1730万円)



主要工事箇所図

① 夢色の橋

⑦ 南幌加橋

⑧ 清仁橋

⑨ 第1樺戸橋

⑩ 岡野橋

③ 北8号線

④ 南中央団地

⑤ みどり団地

⑥ 錦野団地

①西2線

②西1線

※市街図参照

市街地拡大図



## 町道の除排雪

1億2140万円

(担当：建設課土木グループ)

冬期間の快適な生活環境と安全な交通の確保を図るため、町所有の機械15台と事業者から借上げた機械8台を使って町道の除排雪を行いました。

また、みどり町有地に雪捨て場を開設し排雪作業の効率化を図りました。

### <財源内訳>

国の補助金 416万円  
町の負担 1億1724万円



年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
降 雪 量	875cm	553cm	812cm	850cm	786cm	758cm
最 大 積 雪 量	159cm	110cm	150cm	125cm	140cm	102cm
一 斉 除 雪 回 数	44回	27回	42回	53回	43回	40回
一 斉 排 雪 回 数	2回	1回	2回	2回	2回	1回
決 算 額	1億2872万円	7886万円	1億3718万円	1億2850万円	1億2223万円	1億2140万円

## 除雪車の購入

1206万円

(担当：建設課土木グループ)

除排雪作業を行っている町所有の機械のうち、古くなった除雪ドーザを1台更新しました。

### <財源内訳>

国の補助金 624万円  
町の負担 582万円  
(内 借入金 320万円)



## 道路付属物の点検

698万円

(担当：建設課土木グループ)

道路には道路照明や案内標識など、落下すると危険な道路付属物があります。

道路照明165基と案内板標識48基の点検を行った結果、ボルト交換などの小規模な修繕を行い、安全を確認しました。

### <財源内訳>

国の補助金 454万円  
町の負担 244万円



事業名	決算額	実施概要
環境の保全		
狂犬病の予防	7万円	新規登録17頭、予防注射済票を249頭分交付しました
墓地の管理	65万円	町内各地の墓地と弥生霊園の維持管理を行いました
資源リサイクルの奨励	34万円	資源ごみを回収する10団体に奨励金を支出しました
ごみ処理施設の負担金	5858万円	ごみ処理施設「リサイクリーン」の運営費を負担しました
合併処理浄化槽設置の支援	150万円	生活排水対策で浄化槽設置者4人に助成しました
し尿収集	591万円	し尿くみ取りや運搬を行いました
し尿処理施設の負担金	1916万円	し尿処理施設中空知衛生センターの運営費を負担しました
石狩川流域下水道組合負担金	657万円	新しいし尿処理施設の共同運営費を負担しました
汚泥等処理(MICS)効果促進事業負担金	1386万円	新しいし尿処理施設の建設費用を負担しました
生活基盤の充実		
町有住宅の維持管理	819万円	町有住宅の修繕などの維持管理を行いました
建築事務	19万円	事務手続きに必要な建築法令や技術の講習会に参加しました
都市整備の推進	2万円	都市計画の適正管理を図るため関係機関と協議しました
公園の維持管理	1375万円	公園の草刈りなどの環境整備や遊具の点検補修を行いました
交通環境の充実		
町道の維持管理	3955万円	夏期の町道の維持や不良箇所の補修を行いました
道路台帳の管理	367万円	整備・改良が完了した町道の道路台帳を更新しました
道路維持車両の管理	1460万円	砂利道の路面整正や除排雪作業のための車両を管理しました
道路名標識板の設置	508万円	町道名が分かるように表示板を28基設置しました
除雪センターの管理	24万円	夏期町道維持や除排雪作業の拠点施設を管理しました

**みんなで作る  
健やかなまち**

# ① 児童福祉の充実

## 子育て支援センターの運営 324万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

子育て支援センターは、子育て中の保護者の仲間づくりの場として開設し、子育てに係る悩みの相談や育児サークル「ぴよぴよきっず」の活動支援を行っているほか、子育てからのリフレッシュを目的とした「子育てスクール」の開催や子育て支援センターの行事や乳幼児健診の日程などを掲載したお便りの発行も行っています。

また、子育て支援ボランティアがこの会と協力し、小学校の授業参観日や子育てスクールなどの際に託児を行っています。

平成26年度は、砂場の抗菌砂の入れ替え、木製遊具への防腐剤塗布のほか、ターザンロープの取り替えなど、劣化してきた遊具の補修を行いました。

<財源内訳>

国の補助金	93万円
道の補助金	93万円
子育てスクールの参加料	3万円
町の負担	135万円



## できっずカードの発行 689万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

妊婦や中学生以下の子どもがいる世帯を経済的に支援するため、子育て世帯専用のポイントカード「できっずカード」を1世帯につき5枚交付しています。このカードは満点になると5000円分、買い物や預金に利用することができ、4500円分を町が負担しています。

平成26年度は、対象508世帯のうち431世帯(交付率84.8%)に合計2155枚のできっずカードを交付しました。満点カードの使用枚数は1508枚(70.0%)でした。



**満点特典詳細**

- 加盟店で500円+4,500円のお買い物が出れます。 **お買い物500円**
- 指定金融機関にて500円+4,500円の預金が出れます。 **預金500円**
- 楽しいイベントに参加でき、加盟店で4,500円のお買物が出れます。この場合カードの一部を切り取ります。 **イベント参加**

※本カードは発行年度内(発行年度の3月31日迄)に、満点となった特典を利用しない場合、プラス4,500円のプレミアムは利用できなくなります。

●お買上100円(税別)毎にポイント500円単位でカードに貯蓄します。  
●お買上1,500円(税別)毎に1マーク印字、100マークで満点になります。  
しんとつかわポイントカード会事務局 新十津川町中央18-3 ☎76-2571

**おっぴんぽん プレミアム +4,500円**

- お買い物 ●預金
- ※イベントに参加した場合 預金はできません。
- プレミアム特典を利用する場合、子ども世帯認定バーストマークをご提示ください。

住所

※満点後、随時牛のパンで記入ください。

## 児童館の管理運営 778万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

児童館では、5人の児童厚生員が放課後や休日などに、子どもたちが安心して遊べるよう、さまざまな行事を行っており、延べ1万6592人の児童が来館しました。

また、児童の遊びを通じての指導や保護者からの子育て相談に対応するため、子育て支援アドバイザー1人を配置しました。

### <財源内訳>

道の補助金	97万円
参加者負担金	1万円
町の負担	680万円



## 子育て世帯臨時特例給付金の支給 726万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

消費税率の引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和し、消費の下支えを図るため、臨時的な給付を行いました。

### 【支給対象者】

平成26年1月分の児童手当支給対象者で、児童手当の所得制限額に満たない方

### 【給付額】

対象児童1人につき1万円

### 【支給世帯・児童数】

417世帯・702人

### <財源内訳>

国の補助金 726万円

子育て世帯臨時特例  
給付金イメージキャラクター  
コソダテカクニンジャ



## 子ども・子育て支援事業 524万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

子ども・子育て新制度に対応するため、保育園や幼稚園などの事務手続きを処理するための電子システムを導入しました。

また、平成27年から5年間の「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画書を作成しました。

### <財源内訳>

道の補助金	217万円
町の負担	307万円



## ② 障がい者福祉の充実

### 障がい者の日常生活の支援 417万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活するため、個々にあった必要なサービスを提供しました。

外出時に移動する際の介助支援、日中の見守り支援、日常生活に必要な用具の給付や貸与などを行いました。

#### <財源内訳>

国の補助金	208万円
道の補助金	104万円
町の負担	105万円

### 地域活動支援センター負担金 684万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

地域活動支援センターの指定を受けている、ゆめりあ内の「あざれあ工房」と砂川市の「ぼぼろ」に対し、運営費の一部を負担しました。

地域活動支援センターは、心身に障がいのある方が通所する福祉施設で、「あざれあ工房」では、手芸品の作成や菓子箱の組み立てなどを行いました。

また、砂川市の「ぼぼろ」では、話し合いの場や料理・軽スポーツなどの活動の場を提供しました。

### 障がい福祉サービスの提供

2億1363万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、サービスを提供しました。

また、個々のニーズに応じた適正なサービスを提供するため、必要な情報の提供や助言を行い、サービスの利用計画を作成しました。

#### 【主なサービス】

○在宅で訪問を受け利用するサービス

入浴、排せつ、食事の介護および調理、洗濯などの家事援助を行いました。

○施設などで昼間の活動を支援するサービス

施設での入浴、排せつ、食事の介護および個々の能力に応じた就労支援を行いました。

○住まいの場を提供するサービス

さまざまな障がいのある方が共同生活を送ることができるよう、日常生活に必要な支援を行いました。

#### <財源内訳>

国の負担金	1億681万円
道の負担金	5340万円
町の負担	5342万円

### ③ 高齢者福祉の充実

#### 介護予防のための通所型サービス

685万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

高齢者が要介護の状態になるのを防ぐため、運動機能の維持向上や認知機能の低下予防のためのデイサービス事業を行いました。

##### 【主な事業の内容】

- 元気満点教室（開催期間：通年）  
イスに座りながらの運動や体を使ったレクリエーションなどの運動プログラム、認知機能の低下予防のための各種プログラム・行事などを行いました。
- 楽絡（らくらく）運動教室（開催期間：11月から3月まで）  
冬期の閉じこもりや運動不足を予防するため、ゆめりあを会場に冬期限定の運動教室を開催しました。
- 高齢者サロン（開催期間：10月から3月まで）  
介護予防の推進を目的に、地域の高齢者同士の交流を図る事業として、徳富区をモデル地区に選定して行いました。定期的な活動に休まず参加し、身心機能の維持向上につながっています。

##### <財源内訳>

利用者負担金 56万円  
介護予防事業受託金 629万円

#### 高齢者や障がい者の見守り 9万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

高齢化率の高いみどり区、花月区をモデル地区に設定し、一人暮らし高齢者や障がいのある方のうち見守りの希望があった方に、支援員を選任しました。

支援員は週1回程度の定期的な訪問活動などの見守りを行いました。



#### 緊急通報システムの設置 10万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

ボタンを押すと消防署につながる、緊急通報システムの設置運用に係る費用を負担しました。

高齢者や障がいのある方の不安の軽減を図るとともに、緊急時の迅速な対応を行いました。

平成26年度は73世帯の利用があり、消防署への通報は7件、その全てに救急隊が出動して病院への搬送が行われました。

なお、緊急通報システムは、雨竜町との共同事業で行っています。

##### <財源内訳>

雨竜町の負担金 4万円  
町の負担 6万円



## 臨時福祉給付金の支給 2067万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

消費税率の引き上げに際し、所得の低い方々への影響を緩和し、消費の下支えを図るため、臨時的な給付を行いました。

### 【支給対象】

平成26年度分の市町村民税（均等割）が課税されていない方。なお、平成26年度分の市町村民税（均等割）が課税されている方の扶養親族、生活保護受給者などを除きます。

### 【給付額】

対象者1人につき1万円（老齢基礎年金、児童扶養手当などの受給者は5千円を加算）

### 【支給人数】

1295人（うち加算対象940人）

### <財源内訳>

国の補助金 2013万円  
町の負担 54万円

## 灯油購入費の助成 131万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

冬期間の暖房に欠かすことのできない灯油の価格が高騰したため、一定の要件を満たした高齢者世帯や障がいのある方の世帯、ひとり親世帯など166世帯に対し、1世帯当たり100リットル分の福祉灯油券を発行しました。

### <財源内訳>

道の補助金 65万円  
町の負担 66万円

## ふるさと学園大学の運営 93万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

高齢者を対象に、学習意欲の向上、健康や体力の維持・増進などを目的とした講義を年間8回開催しました。

203人の学生が入学し、充実した生きがいのある生活を目指すため、身近な話題をテーマとした講義を受講しました。

なお、203人のうち62人の学生が皆勤者となりました。

また、平成26年度はふるさと学園大学が開講して30周年となり、記念事業として、落語家の三遊亭楽春さんを招き、講演会を開催しました。

### <財源内訳>

道の補助金 7万円  
町の負担 86万円



## シニアいきいきクラブの開催 11万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

60歳以上の方を対象に、新たな仲間、新たな趣味、新たな生きがいを見つけるきっかけづくりを目的に、シニアいきいきクラブを開催しました。

平成26年度は、カラオケ、和紙・千代紙細工、ノルディックウォーキング、プリザーブドフラワーの4つの教室を開催し、延べ98人が参加しました。

### <財源内訳>

参加者負担金 4万円  
町の負担 7万円



## 高齢者宅などの除雪 290万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

高齢者や障がい者世帯の冬期間の除雪の不安を解消し、在宅生活を確保するため、11月から3月までの期間、除雪サービスを実施しました。

除雪の範囲は、玄関から道路までの人が通れる程度とベランダおよび窓（家の中で1カ所）で、42人がこの制度を利用しました。

### <財源内訳>

国の交付金	91万円
利用者の負担金	33万円
町の負担	166万円



## レクリエーション・インストラクターの養成 9万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

札幌で行われたレクリエーション・インストラクター養成講習会に1人が参加し、それに係る交通費や受講料などを負担しました。

また、インストラクターの活躍の場として出前講座を開設し、単位老人クラブの定例会で7回のレクリエーションを実践しました。



## ④ 健康づくりの推進

### 健康づくり対策

340万円

(担当：保健福祉課健康推進グループ)

栄養・食生活改善対策として、食のアドバイザー佐々木十美氏による食生活改善講演会の開催や「食生活知っ得情報（料理レシピ）チラシ」の町内全戸配布により、栄養や食生活改善に必要な情報を提供しました。

また、6月から10月までをウォーキング推進期間とし、ウォーキングスタートセットを配布することにより、体を動かす習慣を身に付けるためのウォーキングを推進しました。

### <財源内訳>

道の補助金	30万円
団体からの助成金	25万円
町の負担	285万円



## 成人健康診査事業

196万円

(担当：保健福祉課健康推進グループ)

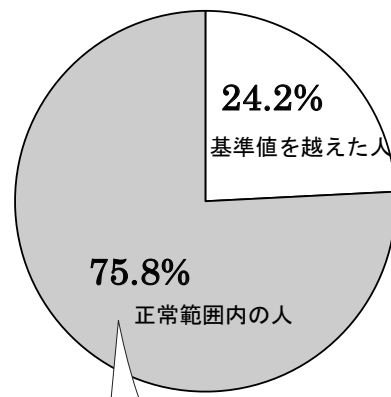
若年者健診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、エキノコックス症検診を行いました。  
また、平成26年度から新たに、早期からの健診受診の習慣化、生活改善および生活習慣病予防を目的に、20歳代の若年者健診を開始しました。

受診者数は62人で、その結果、LDL（悪玉）コレステロールの基準値を越える人の割合が高いことが分かりました。基準値を越えても、自覚症状がないため、健診で確認することが大切です。健診結果説明会を開催して、結果表の見方と生活改善に向けた相談を行いました。

### <財源内訳>

道の補助金	56万円
受診者負担金	17万円
町の負担	123万円
(内 借入金)	120万円)

悪玉コレステロールの基準値を超える割合



LDLは、受診者の4人に1人が、基準値を超えていました。LDLは、体の各所に必要なコレステロールを血流に乗って運ぶ役割をしていますので、値が高いと余分な脂肪分が血管内壁にへばりつき、放置すると動脈硬化の原因となります。血栓による、心筋梗塞、狭心症や脳梗塞のリスクを高めます。

## 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種 262万円

(担当：保健福祉課健康推進グループ)

高齢者肺炎球菌予防接種を受けたことがない65歳以上の高齢者を対象に、肺炎球菌ワクチンの費用を1人につき7000円助成し、373人が無料で受診しました。

※高齢者肺炎球菌ワクチンとは

肺炎球菌ワクチンは、高齢者の肺炎を起こす最も多い原因菌である「肺炎球菌」による感染症を予防するワクチンです。

### <財源内訳>

道の補助金	76万円
町の負担	186万円

## ⑤ 医療環境の充実

### 国民健康保険

3億8161万円

(担当：住民課戸籍保険グループ)

保険運営を行う広域連合への負担金、保険税の収納に係る経費や国民健康保険税審議会の開催経費など、保険事業を安定的に運営するための経費を支出しました。

40歳～74歳の加入者を対象とした特定健診の個人負担を無料化し、病気の早期発見・早期治療による医療費削減に努めました。

#### <財源内訳>

国の補助金	1499万円
道の補助金	2463万円
加入者の保険税	2億2485万円
町の負担	1億1714万円

#### 【被保険者数および1人当たり医療費の推移】

	H24	H25	H26
平均被保険者数	2127人	2010人	1918人
前年度対比	△3.2%	△5.5%	△4.6%
1人当たり医療費	41万1130円	40万9698円	41万5463円
前年度対比	1.24%	△0.35%	1.4%

### 後期高齢者医療保険

1億268万円

(担当：住民課戸籍保険グループ)

保険証の作成や保険料の決定などの運営を行う広域連合への負担金や、町が行う保険証の交付、各種療養費の受け付け、保険料を収納して広域連合へ納付するための経費を支出しました。

#### <財源内訳>

道の補助金	2208万円
道広域連合の交付金	6万円
加入者の保険料	7053万円
町の負担	1001万円

#### 【1人当たり医療費の推移】

区分	H23		H24		H25		H26	
	金額	順位	金額	順位	金額	順位	金額	順位
新十津川町	91万4098円	125位	91万2669円	131位	90万9181円	136位	97万4455円	90位
全道平均	107万442円		108万1083円		109万1704円		109万14円	

※平成26年度は確定していないため、暫定的な数値となっています。

※表中の「順位」は、北海道の177（東川町、東神楽町、美瑛町は3町で共同運営）市町村の順位です。

1人当たりの医療費が高いほど、順位が高くなります。

中学生までの医療費無料化

2024万円

(担当：住民課戸籍保険グループ)

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもの健康管理を支援するため、0歳から中学生までのお子さんが病院で診療を受けたときの保険医療費の全額を助成しました。

<財源内訳>

- 道の補助金 263万円
- 保険者の負担金 2万円
- 町の負担 1759万円
- (内 借入金 1680万円)

【平成26年度の助成実績】

	全体		未就学児		小学生		中学生	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
入院	76件	301万6267円	43件	143万3391円	17件	79万1871円	16件	79万1005円
通院	5285件	990万5462円	2857件	395万6075円	1517件	351万3905円	911件	243万5482円
歯科	1071件	226万7866円	387件	41万923円	495件	129万1847円	189件	56万5096円
調剤	3512件	428万9364円	2015件	172万3482円	981件	184万1419円	516件	72万4463円
合計	9944件	1947万8959円	5302件	752万3871円	3010件	743万9042円	1632件	451万6046円

■は町独自助成

### ゆめりあ 食生活知っ得情報

町の健康増進計画である「健康プラン新十津川」に基づき、昨年度に引き続き生活習慣病予防のため、管理栄養士が考えた「健康料理レシピ(作り方)」を配布します。今回は冬にぴったりの保存野菜を使った温かい料理を考案しました。ぜひ、一度お試しください。

#### 健康料理レシピ(その1)

## 冬の定番根菜「大根」 免疫強化で寒さを乗り切ろう!

大根には、「ジアスターゼ」や「オキシターゼ」などの消化酵素が豊富に含まれており、胃腸の働きを助け、消化不良を解消したり、胃腸をコントロールして胃もたれや胸やけを防止する働きがあります。根には全身の60〜70%の免疫細胞が存在するため、腸内環境を保つことにより、免疫力を強化します。

### ひらひら大根スープ

【材料/4人分】

- 大根 150g
- 人参 20g
- 鶏肉 50g
- シメジ 1/2パック
- 小ねぎ 適量
- 生姜 10g
- 醤油 50g
- 酒 2g(3cm×6cm)
- 油 大さじ1
- 水 800cc
- 塩 小さじ1/2
- こしょう 少々
- ごま油 小さじ1/2
- しょうゆ 大さじ1

【作り方】

- 大根、人参は千切りにする。鶏肉は一口大に切って煮込んだら、鶏肉を加え、煮て鶏肉をくずし、残火で15分ほど煮る。アクがたったら取る。
- 大根は皮むき後千切りにする。人参は千切り、シメジは小房に分ける。
- 鍋に人参、シメジを加え、塩、こしょうを加えおろし器で、人参に火が通ったら、大根を加え2〜3分ほど煮て、ごま油、しょうゆを加える。最後に混ぜつけて、小ねぎを飾る。

【1人分の栄養価】 エネルギー250kcal / たんぱく質13g / カルシウム16mg / 塩量1g

※健康増進計画、健康、まちづくりに関する相談等は、保健課、管理栄養士へ  
**新十津川町 保健福祉課 健康推進グループ(ゆめりあ内)**  
 TEL.0125-72-2000 FAX.0125-72-2006

### ゆめりあ 加工室のご案内

手作り加工品のできたてを味わいませんか?

#### 手作り加工品のおすすめポイント

- ◎原材料を自分たちで用意するので、安心・安全な食品を作ることができる。
- ◎自然のものを使うよりも安価に作るができる。
- ◎できたての食品を味わうことができる。
- ◎グループで作るので、仲間づくりができる。

加工室で作られている主な食品です。

- 利用できる時間 平日(月～金)のみ 午前9時～午後5時
- 予約方法 原則2人以上のグループで電話または窓口でお申し込みください。  
※お申し込みの際は、加工室の稼働状況を確認してください。
- 申込期間 利用する3ヵ月前から1週間前まで。
- 使用料 1室(4時間以内)600円  
※1時間あたり500円(200円税別)
- 持ち物 必要な食料、エプロン、三角巾、ふせん、洗剤上がったものを入れる容器など。
- 申込・問合せ 新十津川町総合健康福祉センターゆめりあ内 保健福祉課健康推進グループ TEL.0125-72-2000

※加工料は別途お見積りいたします。

事業名	決算額	実施概要
児童福祉の充実		
誕生記念品の贈呈	20万円	誕生した35人のお子さんにベビー服を贈りました
児童手当の支給	8894万円	中学生以下の子どもを養育している方に手当を支給しました
保育園の運営	7437万円	指定管理者（華園学園）に委託して保育園を運営しました
子ども夢基金積立金	32万円	子ども夢基金の利子を積み立てました
障がい者福祉の充実		
自立支援医療費の給付	1600万円	人工透析などに係る医療費を助成しました
補装具費の支給	257万円	身体に障がいのある方に補装具を給付しました
重度心身障害者等介護手当の支給	57万円	重度障がい者の介護者に手当を支給しました
特別児童扶養手当支給事務	3万円	障がい児の保護者に手当を支給しました
機能訓練施設への交通費の助成	7万円	機能訓練施設への交通費を助成しました
精神障がい者の通所交通費の助成	62万円	社会復帰施設などへの交通費を助成しました
障がい児通所施設利用者の交通費助成	12万円	子ども通園センターなどへの交通費を助成しました
子ども通園センター負担金	22万円	子ども通園センターの運営費を負担しました
身障福祉協会の支援	4万円	身障福祉協会の活動を支援しました
高齢者福祉の充実		
ゆめりあ部会の運営	3万円	部会活動の成果を披露する発表会や体験教室を行いました
福祉バスの運営	123万円	高齢者無料バスの運行や車両の管理を行いました
長寿を祝う会の開催	122万円	「長寿を祝う会」の開催を支援しました
単位老人クラブの支援	91万円	町内の各老人クラブの活動を支援しました
老人クラブ連合会の支援	54万円	町の老人クラブ連合会の活動を支援しました
高齢者の福祉施設入所経費	521万円	行政の措置による施設入所者費用を助成しました
介護保険の運営	1億1431万円	介護保険の運営経費を空知中部広域連合に負担しました
在宅要援護者の通院支援	7万円	バス利用が困難な高齢者にタクシー代を助成しました

事業名	決算額	実施概要
健康づくりの推進		
子ども法定予防接種	655万円	子どもに必要な法定予防接種を行いました
インフルエンザ予防接種	182万円	対象者に1人1回につき1000円を助成しました
保健事務	55万円	保健事業に関する事務を行いました
成人健康診査2次健診	11万円	糖負荷検査や頸部エコーなどの詳細検査を行いました
がん検診	678万円	胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮頸がん検診を行いました
後期高齢者健康診査	58万円	後期高齢者の健康診査を113人に行いました
妊婦健康診査・相談	299万円	母子手帳の交付や妊婦健診助成を延べ60人に行いました
乳幼児健康診査・相談	60万円	乳幼児の健康診査、健康相談を行いました
特定不妊治療費の助成	23万円	特定不妊治療費を助成しました
総合健康福祉センターの管理	4358万円	ゆめりあの管理運営を行いました
栄養指導	120万円	栄養相談や食生活改善支援を行いました
健康体力増進室の管理運営	248万円	健康体力増進室の管理運営を行いました
医療環境の充実		
後期高齢者医療療養給付費負担金	9603万円	後期高齢者医療保険加入者の医療費を負担しました
24時間の訪問看護の確保	79万円	総合在宅ケア事業団の運営費を負担しました
救急医療の確保	98万円	休日や夜間などに救急患者が受診できる体制を確保しました
重度心身障がい者の医療費助成	1617万円	重度の障がいのある方の医療費を助成しました
ひとり親家庭の医療費助成	323万円	母子家庭、父子家庭などの医療費を助成しました
未熟児養育医療費の助成	18万円	入院を必要とする未熟児の医療費を助成しました

**みんなで作る  
豊かなまち**

# ① 農業の振興

## 農産物ブランド化の支援 71万円

(担当：農産物ブランド化推進室)

町内で生産された農産物のブランド化に取り組んでいる農産物ブランド化推進協議会の活動を支援しました。

### 【ブランド化協議会の主な活動】

- 新たな栽培方法を取り入れた良質で安全な農産物の生産支援
- 生産者自らによる消費者との対面販売



## 農業基盤の整備 2848万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

農業基盤を充実させるため、北海道が主体で行う水田や用排水施設の整備費を負担しました。

地 区	総事業費	うち町の負担
		新北部地区
新南部地区	2億4053万円	865万円
新西部地区	1億6700万円	281万円



## 国営樺戸地区土地改良事業 10億6085万円

(担当：建設課都市管理グループ)

昭和62年度より開始された国営樺戸地区土地改良事業（受益地区：新十津川町、浦臼町、月形町）が平成25年度をもって完了したことから、町の負担分を一括して支払いました。

- 全体の事業費 262.6億円  
(内 町の事業費分 253.8億円)
- 整備施設
  - ・排水機場 3箇所
  - ・用水路 42.1km
  - ・排水路 9.4km

### <財源内訳>

- 町の負担 10億6085万円  
(内 借入金 5億9560万円)

## 有害鳥獣の駆除 316万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

近年増加傾向にあるエゾシカやアライグマ、カラスなどの鳥獣による農業被害を防止するため、猟友会に駆除を委託し、被害対策を行いました。

### 【平成26年度の駆除頭数】

- エゾシカ 78頭
- アライグマ 15頭
- カラス 133羽

### <財源内訳>

- 道の補助金 61万円
- 農協の負担 42万円
- 町の負担 213万円

## ② 林業の振興

### 町有林の保育管理

513万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

幌加地区の町有林でトドマツを約12ha植栽しました。

また、幌加地区と総進地区の町有林で、植林した木の成長を阻害する雑草などを除去する下草刈りを行いました。

<財源内訳>

道の補助金 248万円  
町の負担 265万円



### 民有地への植林活動の支援

337万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

森林資源の循環利用を進めるため、町内の民有林において伐採後に再造林を行った方に対し、北海道と町が連携して支援をしました。

○植林面積 17.74ha

<財源内訳>

道の補助金 207万円  
町の負担 130万円



### 林業専用道の整備

3015万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

適切な森林整備や原木の搬出推進による木材の安定供給を図るため、「森林整備加速化・林業再生事業」を活用して福井土寸地区に全長4703mの林業専用道を整備しました。

<財源内訳>

道の補助金 3015万円



### ③ 商工業の振興

#### 中小企業事業資金保証融資 3042万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

中小企業者の経営基盤の強化と健全な資金運営を図るため、町が指定する金融機関に運用資金3000万円を預けて、融資のあっせんや利子補給を行いました。

平成26年度は12社に利子補給の補助をしました。

<財源内訳>

預託金元利収入	3002万円
町の負担	40万円

#### 地元消費の拡大を支援 389万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

地元での購買意欲の向上と消費拡大を図るためのスタンプラリー抽選会事業に助成しました。

【スタンプラリー抽選会】

○ふれあい商品券会加盟店で1店舗500円以上の買い物で1スタンプ

・4店舗のスタンプ～1回抽選

・7店舗のスタンプ～2回抽選

○ラリー期間 1回目 7月20日～8月23日

2回目 12月15日～1月17日

○抽選会 1回目 8月24日 抽選者753人

2回目 1月18日 抽選者783人



3

### ④ 観光の振興

#### イベントの共催

700万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

町の2大イベントである、ふるさとまつりと雪まつりの企画・運営を行っているふるさとまつり実行委員会に対し、開催費用の一部として、それぞれに350万円を助成しました。

ふるさとまつりは悪天候により、前年に比べ来場者は大幅に減少しましたが、雪まつりは前年を上回る来場者を記録しました。

【開催日・来場者数】

○ふるさとまつり 7月26日(土) ビールパーティー・花火大会 来場者数 1000人

27日(日) 本祭 来場者数 800人

○雪まつり 1月25日(日) 来場者数 5000人



## イベント開催の支援 70万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

観光協会主催の陶芸まつりと味覚まつりの開催費用の一部として、陶芸まつりに40万円、味覚まつりに30万円を助成しました。

陶芸まつりは雨模様ながら例年同様の来場者でした。味覚まつりは天気も良く前年を上回る来場者でした。

### 【開催日】

○陶芸まつり 6月14日(土)・15日(日)

○味覚まつり 10月5日(日)



## 観光PRの推進 128万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

本町の観光施設の維持管理やイベント用テントなどの備品の整備のほか、ホームページや雑誌などを活用し、イベントや特産品のPRを行いました。

また、観光ガイドブック・マップの増刷や町PRキャラクターの募集・決定を行い、キャラクターの名刺台紙を作成しました。

ほかにも、都市との農村交流促進事業で、町の農産物を町内外へ広く発信しました。



## キャンプ村の維持管理 253万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

バンガローやトイレの清掃、施設の光熱水費や修繕費を支出し、青少年交流キャンプ村を管理しました。

平成26年度は2627人の方が施設を利用しました。

### <財源内訳>

利用料金 225万円

町の負担 28万円



## 伝習館で工芸体験 505万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

文化伝習館で、講師の指導による週3回の体験講座(陶芸、染物、織物)を行いました。

平成26年度は3300人の利用がありました。

### <財源内訳>

利用料金 178万円

町の負担 327万円



事業名	決算額	実施概要
農業の振興		
農業委員会の活動	982万円	農業委員の報酬などを支出しました
農業者年金事務	127万円	農業者年金事務を行いました
農地基本台帳管理システムの管理	37万円	管理システムの保守を行いました
農地台帳システムの整備	121千円	農地台帳システムの整備改修を行いました
農政事務	22万円	農業に係る事務を行いました
営農振興対策協議会の支援	20万円	農業振興の関係機関で構成する協議会の活動を支援しました
農民協議会活動の支援	60万円	農業者で組織する農民協議会の活動を支援しました
農業経営基盤強化資金利子助成	536万円	認定農業者の借入資金の利子補給をしました
水土里情報システム負担金	42万円	水土里情報システムを使用して農地情報などを把握しました
次世代農業者支援融資利子助成	2万円	農業後継者の経営継承資金の利子補給をしました
ピンネ農業公社の支援	535万円	農業後継者の育成などを行う公社の活動を支援しました
多面的機能支払交付金	4223万円	農地・農業用水などを保全管理する組織に交付しました
環境保全型農業直接交付金	178万円	環境にやさしい農業に取り組む12人の農業者に交付しました
中山間地域等直接支払交付金	1億2747万円	農作業条件が不利な中山間地域の農業者に交付しました
経営所得安定対策の推進	1097万円	地域農業再生協議会に運営経費を交付しました
青年就農の支援	600万円	青年就農者2人に26年度・27年度分の給付金を交付しました
農業機械取得費用の助成	879万円	農業者3人に機械取得費用を助成しました
無人ヘリコプターオペレーターの養成	60万円	農業者4人に防除用ヘリ免許取得費用を助成しました
機構集積協力交付金	946万円	農地集積に協力した10人の農業者に交付しました
家畜の病気予防	70万円	肉牛などに対しワクチンの予防接種を行いました
家畜相場の調査	1万円	家畜市場（安平町）などで家畜相場の調査を行いました
学園牧場の維持管理	151万円	町営牧場の維持管理を行いました
畜産振興協議会活動の支援	30万円	畜産農家で組織する畜産振興協議会の活動を支援しました
国営土地改良事業推進事務	5万円	樺戸2期地区の事業を推進しました
農業基盤整備事業償還金	384万円	完了した基盤整備事業の償還金を支出しました
21世紀高生産基盤整備推進協議会事業費負担金	240万円	基盤整備事業に要する事務費を負担しました
高度経営体面的集積促進事業(花月第2地区)	3598万円	農用地の面的集積に応じて改良区へ助成しました
国営造成施設管理体制整備の促進	1285万円	貯水池や農業用頭首工などの維持管理を行いました
基幹水利施設の管理	923万円	国の土地改良施設の管理を行いました

事業名	決算額	実施概要
林業の振興		
森林総合研究所分収林の管理	2万円	分収造林地の管理を行いました
森林保護のための巡回活動	13万円	巡視により林野火災やごみの不法投棄を予防しました
鳥獣による森林被害の防止	8万円	薬剤散布により野ネズミによる森林被害を防止しました
林道の維持管理	149万円	林道の維持作業や不良箇所を補修を行いました
商工業の振興		
中小企業の近代化促進	18万円	商店街の近代化の取り組みに対し支援しました
企業振興の促進	307万円	企業の施設・設備増設に対し助成しました
商工業振興事業	2万円	中小企業制度や予算などの説明会に出席しました
商店街の環境整備	28万円	国道沿いの商店街、植樹ますに花を植栽しました
借入資金の利子補給	226万円	国・道の融資制度利用者に資金利子を助成しました
新十津川町商工会の支援	967万円	商工会の円滑な業務を推進するために助成しました
観光の振興		
吉野駐車公園の維持管理	57万円	駐車公園（旧吉野公園）の維持管理を行いました
ふるさと公園の維持管理	1554万円	芝生や樹木、遊具などの維持管理を行いました
文化伝習館の管理運営	531万円	文化伝習館の管理運営を行いました
新十津川物語記念館の管理運営	167万円	新十津川物語記念館の管理運営を行いました
吉野地区活性化センターの管理運営	524万円	吉野地区活性化センターの管理運営を行いました
吉野公園の維持管理	295万円	公園とキャンプ場の維持管理を行いました
新十津川町観光協会の支援	10万円	観光協会の活動を支援しました
ふるさと温泉の管理	1069万円	温泉施設所有者に温泉の加温経費を助成しました
ふるさと温泉揚水設備の更新	249万円	温泉施設所有者に設備更新に係る費用を助成しました
サンヒルズ・サライなどの管理運営	3874万円	サライなど4施設の運営を振興公社に委託しました
新十津川総合振興公社の支援	2000万円	振興公社の安定運営のため資金を貸し付けました
終着駅しんとつかわ利用促進	16万円	終着駅ポスターを札幌駅構内に掲示しました
雇用の創出		
新十津川技能協会の支援	4万円	技能協会の活動を支援しました
通年雇用の促進	2万円	滝川地域通年者用促進協議会の運営費を負担しました
地域職業訓練センター協会負担金	56万円	職業訓練センターの運営費を負担しました

4

**みんなで作る  
安心なまち**

## ① 消防・救急体制の充実

### 滝川地区広域消防事務組合負担金

1億7680万円

(担当：総務課総務グループ)

消防組織の維持・充実のため、滝川地区広域消防事務組合（一部事務組合）を組織し、その運営経費を各市町で負担しています。

平成26年度からは、滝川市、雨竜町、本町の構成に、新たに赤平市と芦別市が加わり、5市町で構成する組織になりました。

主な支出は、消防職員の人件費、消防署庁舎の維持管理経費、消防団の運営経費、消火栓などの消防施設の整備更新費、消防車両の維持管理経費、救急救助資機材の購入費などです。

平成26年度は、第4分団（大和地区）の消防ポンプ車の更新と老朽化した消火栓6基の更新を行いました。



## ② 防災体制の充実

### 地域防災力の強化

362万円

(担当：災害対策事務局)

いつ起こるか分からない災害に備えるため、住民の意識の高揚と体制整備を進めました。

○災害発生時に地域のリーダーとして活躍できる人材の育成を図るため、「防災士」の資格取得者9人に対し研修費用の全額を助成しました。

○大学の先生を招き、災害に対して自分はどういう備えをしているか、していないかに気づき、家庭での防災対策をテーマに、地域の防災マップを作成する研修を開催し、住民74人が参加しました。

○すでに耐震性を有している行政区自治会館（中央・青葉・徳富）に、停電時でも速やかに発電機で照明やストーブの電源が確保できるように発電機専用のコンセントやLED照明を整備しました。大和区自治会館にも大規模改修時にこの機能を整備し、そのほかの会館については、耐震改修にあわせて行う計画です。



防災研修



青葉区会館（発電機接続状況）

#### <財源内訳>

加盟団体からの負担金	30万円
町の負担	332万円

### 排水機場の管理

1381万円

(担当：建設課土木グループ)

大雨による石狩川の水位上昇により、堤防内(私たちが住んでいる側)の河川の排水機能がストップした時に、ポンプで強制的に排水する施設が町内に7カ所あります。

万が一の水害に備え、いつでも迅速に施設を稼働できるように、水防団員による設備の設置訓練を行うとともに、機器の点検・運転や施設周辺の草刈りを行いました。

<財源内訳>

国の補助金	187万円
道の補助金	466万円
浦臼町の負担	82万円
町の負担	646万円

### 防災無線の管理

349万円

(担当：建設課土木グループ)

防災行政無線は、皆さんへ速やかな情報伝達と情報共有が図られるよう、平成9年度から運用しています。

設備の機能を維持するため、保守点検を行うとともに、個別受信機を新たに40台購入しました。

<財源内訳>

助成金	156万円
町の負担	193万円



## ③ 生活安全体制の充実

### 中央市街地街路灯の更新・新設

4680万円

(担当：住民課住民活動グループ)

国道275号沿線にある街路灯は、老朽化により機能低下しており、また未設置区間もあることから、省エネ性能が高いLED灯に更新および新設し、安全安心の明るい町づくりを推進しました。

平成26年度は、菊水区、青葉区内の25基を更新し、青葉区内に13基新設しました。

<財源内訳>

道の補助金	2330万円
地元の負担	10万円
町の負担	2340万円

【平成24年度から平成26年度の実績】

年度	地区	改修	新設
H24	橋本区、みどり区	29基	-
H25	中央区、文京区、菊水区、青葉区	50基	5基
H26	青葉区、菊水区	25基	13基
合計		104基	18基



施工前



施工後

## 安全・安心推進協会の支援 112万円

(担当：住民課住民活動グループ)

町内の交通安全や防犯のために活動する新十津川町安全・安心推進協会へ助成しました。

安全・安心推進協会は、青色回転灯防犯パトロールによる町内巡回や各季の交通安全運動での街頭啓発などを行い、安心して住みよいまちづくりに貢献しました。

### 【青色回転灯防犯パトロール】

- 隊員数 23人
- 巡回数 延べ207回

### 【交通安全活動】

- 実施回数 6回
- 参加人数 延べ226人



## 消費生活問題の解決 138万円

(担当：住民課住民活動グループ)

消費生活トラブルの相談窓口を設け、皆さんからの相談に応じ、解決策を提案しました。

また、インターネットの架空請求や振り込め詐欺、悪質な住宅リフォームなど、複雑なトラブルに関する相談に迅速に対応するため、滝川地方消費者センター（TEL0125-23-4778）にも相談業務を委託しました。

### <財源内訳>

- 道の補助金 106万円
- 町の負担 32万円

事業	決算額	事業概要
防災体制の充実		
災害用備品の管理	45万円	衛星携帯電話の更新や災害用ベストなどを購入しました
防災センターの管理	8万円	防災センターの維持管理を行いました
災害救助物資の備蓄	8万円	保存期限が近づいた備蓄品を更新しました
遭難対策	6万円	遭難防止の看板を作成し夏季に山に設置しました
樋門樋管の管理	96万円	北海道から委託を受けた樋門54カ所の管理を行いました
河川の維持管理	408万円	町管理河川の土砂除去や河川愛護組合の活動を支援しました
徳富川ラブリバー推進協議会の支援	13万円	河川環境保全活動を行っている団体の活動を支援しました
生活安全体制の充実		
中央地区市街地街路灯の管理	356万円	中央地区に設置している街路灯の管理経費を負担しました
交差点照明の更新	334万円	交差点照明2基をLED灯に更新し、1基を新設しました
交通安全の推進	111万円	交通安全の指導などの活動を行いました

5

**みんなで作る  
学びのまち**

# ① 学校教育の充実

## 小学校学習支援サポーター・中学校学力向上推進講師の配置 336万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

平成21年度に「新十津川町確かな学び推進会議」を設置し、児童生徒の学力や学習状況の把握と学力向上に向けた効果的な事業の実施に取り組み、夏休みや冬休み中の学習サポート事業「やまびこ」や放課後の補足的指導、授業におけるティーム・ティーチング（教員複数体制の授業）、習熟度別学習（学習理解度に応じたグループ学習）、少人数指導などを進めてきました。

これまでの指導方法に併せて新たな取り組みとして、小学校では、基礎・基本の確かな定着を目指し、個別の学習指導を行い、学ぶ喜びを感じられる授業を行うため、小学校1、2年生の授業に、学習支援サポーターを2人配置しました。

また、中学校には、1、2年生の数学の授業における少人数指導などの、きめ細やかな学習指導により、効果的で確実な学力の定着を図るため、数学の学力向上推進講師を1人配置しました。

### <財源内訳>

町の負担 336万円  
(内 借入金 320万円)



## 教科担任講師・充実指導講師の配置 152万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

児童が小学校の学級担任制から中学校の教科担任制に円滑に移行ができるよう、町独自で小学校に専任講師を1人配置し、指導体制の強化と児童の学習意欲の向上を図りました。

また、中学校教育の免許外指導を解消するため、町独自で専科指導講師1人を配置しました。

### <財源内訳>

町の負担 152万円  
(内 借入金 140万円)



## 小・中学校教育の推進 1021万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

学校の授業で使用する教材や備品などを購入し、児童生徒の学習環境の整備や学力向上を図るとともに、特別クラブ（スクールバンド、獅子神楽、合唱）など、特色ある学校運営を推進しました。

また、夏休み・冬休み中の学習サポート「やまびこ」を実施しました。

### 【やまびこの参加者数】

	小学校	中学校
夏休み	439人	208人
冬休み	348人	159人



## 中学校課外活動の運営 463万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

中学生の心身の健全な成長のため、課外活動(部活動)を積極的に奨励し、体育、文化活動を行うことにより、協調性や体力の向上を図りました。

また、剣道指導員1人を配置し、安全で円滑な課外活動を進め、中学校の体育の武道必修化に合わせ剣道授業の指導も行いました。

## 新十津川農業高等学校の教育振興 341万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

農業の特色を生かしたカリキュラムを展開している新十津川農業高校に、高校教育推進と広域的な入学者の確保のため、主に次の経費を助成しました。

- 町外から遠距離通学する生徒10人に対し、通学定期券購入費の一部を助成しました。
- ホームヘルパー、アーク溶接技能、小型フォークリフトの資格取得者(各資格共に15人)に対し、資格取得に係る経費を助成しました。
- 農業技術に関する研究の成果や専門分野の知識を競う大会の参加費を助成しました。
- 小学校が行っている田植えや稲刈りなどの体験学習を高校生が支援する取り組みに係る経費を助成しました。

<財源内訳>

町の負担 341万円  
(内 借入金 340万円)

## 外国青年の招致 423万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

町では、外国青年を昭和63年7月から招致し、外国語教育の充実と地域レベルの国際交流を推進してきました。

平成25年8月に本町14人目となる外国青年のキャメロン・ブレンキーさんをアメリカ・バージニア州から招きました。

小学校の外国語教育や中学校の英語授業の指導助手として、英語や外国文化についての理解とコミュニケーション能力の向上を図りました。

また、町民を対象とした英会話教室も継続して開催しました。



## 学校給食センターの増築 5384万円

(担当：学校給食センター)

平成27年度から雨竜町の児童生徒に、本町の学校給食センターで調理した約200食の給食を提供するため、食器消毒保管庫の増設・設置に必要な増築工事を行いました。

<財源内訳>

雨竜町の負担 5384万円



## ② 社会教育の充実

### 芸術鑑賞事業 283万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

たくさんの方に気軽にゆめりあホールに足を運んでもらい、舞台芸術を身近に感じてもらえるように、さまざまなジャンルの公演を実施しました。



<財源内訳>

団体からの助成金 81万円  
 町の負担 202万円  
 (内 借入金 200万円)

【公演実績】

開催日	内 容	入場者数
6月26日(木)	白A テクノデリックコメディ	267人
7月12日(土)	陸上自衛隊音楽隊コンサート	268人
8月29日(金)	香澄 (KAZUMI) 民謡コンサート	223人
9月19日(金)	NAOTO×清塚信也 アコースティックデュオ (ヴァイオリン×ピアノ)	247人
9月27日(土)	NHKラジオ公開録音「ラジオ深夜便」収録	262人
3月21日(土)	みのや雅彦コンサート	204人

### 開拓記念館耐震補強事業 4544万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

昭和55年に建設された開拓記念館は、強い地震に耐えうる基準を満たしていないことから、耐震補強工事を行いました。

また、耐震補強工事に合わせて、展示室の床の張り替えやモニメントの照明灯など、内部の一部を改修しました。

<財源内訳>

国の補助金 60万円  
 町の負担 4484万円  
 (内 借入金 4480万円)



### 青少年文化スポーツ元気事業 47万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

町内の文化スポーツ少年団(野球・サッカー・剣道・水泳・卓球・一輪車・バスケット)へ年間活動費の一部を助成しました。

また、中学校部活(女子ソフトボール)のユニフォーム購入費の一部を助成しました。



5

## 生涯スポーツの推進

39万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

皆さんがライフステージや体力に応じて手軽にスポーツに取り組めるよう、フィットネスを中心に専門の指導者を招いて、さまざまなスポーツを体験していただく機会を提供しました。

### <財源内訳>

参加者負担金 15万円  
町の負担 24万円



ZUMBA

### 【開催実績】

教室名	会場	回数	参加者延べ人数
格闘エクササイズ	ゆめりあ	4回	61人
コアエクササイズ	ゆめりあ	4回	41人
ZUMBA (ズンバ)	ゆめりあ	4回	86人
大人のための初心者フットサル教室	スポーツセンター	2回	20人
大人のためのキンボール教室	スポーツセンター	2回	33人

## 読書活動の推進

1972万円

(担当：図書館)

図書館が皆さんの毎日の暮らしの中にとけ込み、より一層、本に親んでもらえるよう、ギャラリー展示やイベントなどを開催しました。

また、小中学校に、図書館の本を定期的に配本したほか、木のぬくもり豊かな十津川産ヒノキ材を使用した本棚を配置し、児童生徒の読書活動を支援しました。



## 絵本とのふれあい

10万円

(担当：図書館)

家庭での読書習慣の定着を目標として、平成20年度から乳幼児と絵本がふれあう機会を設けています。

ゆめりあで実施する生後3～4カ月児健康相談時に、図書館司書が外向き、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを行いました。

また、絵本2冊と赤ちゃんの名前入り手作り布バッグを32人にプレゼントしました。



事業名	決算額	実施概要
学校教育の充実		
私立幼稚園通園経費の助成	1044万円	私立幼稚園に通う子どもがいる家庭を支援しました
教員住宅等の維持管理	65万円	小・中学校の教員住宅13戸の維持管理を行いました
小学校校舎等の維持管理	4734万円	小学校の校舎の維持管理を行いました
小学校の運営	198万円	臨時事務職員1人を雇用し小学校を円滑に運営しました
小学校の保健活動	130万円	学校医などを各1人委嘱し児童の健康を管理しました
教職員の健康管理	58万円	町立学校職員の健康診断を行い健康を管理しました
小学校特別支援教育の推進	269万円	個に応じたきめ細かな特別支援教育を進めました
町立学校職員の教育研究	105万円	教職員の資質向上を目的に研究と研修を行いました
小中学生芸術鑑賞会の開催	75万円	児童生徒の豊かな心を育むため芸術鑑賞を行いました
小学校就学援助	159万円	小学校に通う一部の世帯に必要な経費を助成しました
中学校校舎等の維持管理	2351万円	中学校の校舎と武道場の維持管理を行いました
中学校の運営	51万円	学校評議員8人を委嘱し中学校を円滑に運営しました
中学校の保健活動	36万円	学校医などを各1人委嘱し生徒の健康を管理しました
スクールバスの維持管理	1332万円	スクールバス4台の維持管理を行いました
中学校特別支援教育の推進	379万円	個に応じたきめ細かな特別支援教育を進めました
中学校の就学援助	243万円	中学校に通う一部の世帯に必要な経費を助成しました
学校給食センター管理事業	8182万円	学校給食を提供するために施設を運営しました
学校給食提供事業	5898万円	学校給食の調理や食器などの配送・回収を行いました
学校給食扶助費交付事業	390万円	所得状況に応じて学校給食費を助成しました
育英事業	205万円	学費支払いが困難な学生に奨学金を貸し付けました
社会教育の充実		
社会教育委員の活動	23万円	社会教育推進のため委員7人が活動しました
成人式の開催	34万円	成人式を開催し新成人をお祝いしました
体験学習の推進	39万円	小学6年生を対象に通学合宿を行いました
児童・生徒の十津川村訪問	145万円	小学5年生28人と教職員5人が母村を訪問しました
青年団の母村交流	29万円	青年団員5人が母村を訪問しました
社会教育の推進	90万円	社会教育に係る事務を行いました
青年会館の管理	13万円	青年団体の活動拠点である青年会館を管理しました
改善センターの管理	1275万円	改善センターの会議用機の一部を更新しました
P T A 連合会の支援	6万円	P T A 連合会の活動を支援しました

事業名	決算額	実施概要
女性団体連絡協議会の支援	16万円	女性団体の活動を支援しました
地域ぐるみの教育の推進	178万円	学校支援地域本部の活動を支援しました
シニアリーダーの活動の推進	6万円	子ども会支援団体のシニアリーダーの活動を支援しました
子ども会の支援	75万円	子ども会活動を支援しました
図書館の維持管理	1011万円	図書館のビデオデッキなどを更新しました
図書館の利用促進	69万円	図書館の利用促進のためのイベントを開催しました
アートの森の管理	24万円	彫刻体験交流促進施設アートの森を管理しました
文化活動の推進	32万円	町民文化祭や音楽祭を開催しました
伝統芸能継承団体の支援	37万円	獅子神楽保存会とおどり保存会の活動を支援しました
文化活動団体の支援	22万円	文化協会や音楽協会などの活動を支援しました
開拓記念館の管理	153万円	開拓記念館の管理運営を行いました
スポーツ推進委員の活動	16万円	社会体育振興のため委員7人が活動しました
社会体育の推進	11万円	ピンネシリ登山マラソン大会の開催を支援しました
スポーツ体験学習の推進	18万円	小学校1年生の初心者スキー教室を開催しました
学校体育館の開放	9万円	学校体育館を地域活動に合わせ開放しました
スポーツ指導者の養成	3万円	新規スポーツの指導者の資格登録料を助成しました
全国・全道大会の参加費助成	130万円	全国・全道大会の参加費用を助成しました
体育協会の支援	23万円	NPO法人町体育協会の活動を支援しました
町民体育館の管理	117万円	中央体育館と大和体育館を管理しました
スキー場の管理	1909万円	そっち岳スキー場の管理運営を行いました
ふるさと公園内体育施設の管理	4829万円	ふるさと公園内の体育施設を管理しました

6

**みんなとともに  
歩むまち**

## ① 住民参加の促進

## 住民活動への支援

1000万円

(担当：住民課住民活動グループ)

行政区内の結びつきを強くし、住み良い地域づくりを目指すための、自主的で特色のある活動（提案、文化づくり、環境づくり事業）や行政区と町が役割と責任を分担しながら行う活動（協働事業）に対し、交付金を交付しました。

また、行政区の役員を対象とした、町内会活動を推進するための研修会（札幌市）に参加しました。

## 【基本事業】

○会館清掃・区民レク・子ども会、老人クラブ助成金など 165万円

## 【提案事業】

○コミュニティ推進事業 3事業 14万円  
○防災・安全安心事業 10事業 117万円  
○区民研修事業 5事業 32万円  
○防犯・交通安全活動事業 2事業 19万円

## 【文化づくり事業】

○文化づくり事業 6事業 84万円

## 【環境づくり事業】

○地域環境整備事業 6事業 90万円

## 【協働事業】

○防犯灯の維持管理 131万円  
○ごみステーション除雪 78万円  
○広報しんとつかわ配布 64万円  
○町有地草刈り 125万円  
○墓地草刈り 7万円  
○道路清掃 5万円  
○公園維持管理 58万円

## 【その他】

○行政区研修 11万円

## ふるさと応援寄附金の推進

313万円

(担当：総務課企画調整グループ)

平成26年度から、町のPRや産業の振興に貢献することを目的に、町外からの寄附者に町の特産品を贈呈しています。

平成26年度は、道内外にお住まいの603人の方から754万8000円のご寄附をいただきました。

## 【平成26年度寄附と特産品贈呈の実績】

寄附金額	自然環境の保全	2,580,000円
	子どもの健全育成	3,145,000円
	終着駅周辺環境整備	738,000円
	観光事業の振興	1,085,000円
	合計	7,548,000円

特産品数	ハム・ソーセージセット	93件
	いかの塩辛セット	18件
	ジンギスカン2kg	363件
	地酒2本セット	46件
	赤肉メロン3玉	138件
	ゆめぴりか5kg	80件
	合計	738件

## 【平成26年度ふるさと応援基金使用実績】

○新十津川中学校ソフトボール部  
ユニフォーム 18着  
○児童書 502冊  
○園児用駅員制服 4着  
○札幌駅構内に観光ポスター掲示 2回

## 大和区自治会館の改修 3780万円

(担当：総務課財務・情報グループ)

大和区自治会館の改修工事を行い、バリアフリー化や非常用電源対応などの機能を備えた施設になりました。

### <財源内訳>

町の負担 3780万円  
(内 借入金 3780万円)



## 行政区自治会館の建て替え 1242万円

(担当：総務課財務・情報グループ)

平成27年度に建て替え工事を行う橋本区自治会館とみどり区自治会館の実施設計と地質調査を行いました。

### <財源内訳>

国の補助金 197万円  
町の負担 1045万円  
(内 借入金 1030万円)

## 開町記念式の開催

97万円

(担当：総務課総務グループ)

先人の労苦をしのび、その功績をたたえ、よりよき新十津川町を築き上げる決意を新たにするため、毎年6月20日に開町記念式を開催しています。

式典では、母村十津川村をはじめ、多くの方々にご列席をいただきました。

### <財源内訳>

参加者会費 16万円  
町の負担 81万円



## ② 行政の効率的な運営

### 職員の研修派遣

397万円

(担当：総務課総務グループ)

新十津川町人材育成基本方針に基づき、職員の能力向上を図ることを目的として、各種研修に派遣しました。

派遣先は自治大学校や市町村職員中央研修所、北海道市町村職員研修センター、北海道空知町村会などで、内容は職位に応じた階層別の研修や課長職が派遣職員を指名する専門技術に関する研修のほか、職員自らが研修先を選択して学習の機会を設ける自主研修を行いました。

また、職員のスキルアップを図るため、雨竜町と共同でコンプライアンスと番号制度についての研修会を開催しました。

#### <財源内訳>

研修事業助成金	15万円
町の負担	382万円

### 中空知広域市町村圏組合の負担金 112万円

(担当：総務課企画調整グループ)

5市5町で構成する特別地方公共団体である中空知広域市町村圏組合の運営費の一部を負担しました。

圏域の事業を共同で行うことで、事務の効率化を図り、事業の効果を最大限に発揮しました。

#### 【構成市町村】

芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、雨竜町、新十津川町

#### 【中空知広域市町村圏組合の事業概要】

- ・定住自立圏構想の検討
- ・さっぽろオータムフェストで特産品を販売
- ・らんフェスタ赤平で特産品をPR
- ・イベントPRチラシの作成（祭り、花火）
- ・STVラジオ「Yo!Hey!サンデー」で、特産品をPRし、中空知5市5町の「特産品セット」を視聴者にプレゼント
- ・職員の接遇研修の開催 など

### 総合行政審議会の運営

75万円

(担当：総務課企画調整グループ)

皆さんと行政が協働のまちづくりを進めるため、幅広く住民の意見を行政に反映できるよう、公募委員と有識者委員の14人で組織する審議会を設置しています。平成26年11月に、新たに委員を選任しました。(任期は2年)

審議会では、まちづくりに関する各種計画の審議や町が進めている事業が住民のために役立っているのか、どのような成果があったのかの評価を行いました。

#### ○各種計画の審議

子ども・子育て支援事業計画、高齢者保健福祉計画、障がい者福祉計画、消費税の増税に伴う公共施設の利用料金の見直しについての審議を行いました。(全4回)

#### ○外部評価

平成25年度に実施した59施策のうち、12施策を住民の立場から評価を行いました。(全6回)



事業名	決算額	実施概要
住民参加の促進		
行政区自治会館の維持管理	32万円	行政区自治会館の維持管理を行いました
追悼式の開催	25万円	戦没者・開拓物故功労者・消防殉職者追悼式を行いました
議会だよりの発行	34万円	議会の内容を町議会議員が編集し年4回発行しました
広報しんとつかわの発行	287万円	広報の発行と老朽化した広報用カメラを更新しました
まちづくり読本の発行	53万円	平成25年度決算版を発行しました
ホームページの運営	93万円	ホームページを管理し町の情報発信をしました

事業名	決算額	実施概要
行政の効率的な運営		
議会活動の運営	291万円	政務調査や研修会への派遣を行いました
予算書・決算書の調製	6万円	平成27年度予算書と平成25年度決算書を作成しました
財政事務	14万円	財政に係る事務を行いました
財務会計の管理	205万円	財務会計をシステムで管理しました
庁舎の管理	1815万円	役場庁舎の維持管理に係る消耗品などに支出しました
普通財産の管理	857万円	旧行政区自治会館や町有住宅を解体しました
各施設共通の管理	1524万円	浄化槽点検や火災保険加入など町有施設を管理しました
自動車の管理	442万円	町が管理している自動車の維持管理を行いました
電子機器管理事務	1659万円	事務で使うコンピューターの維持管理を行いました
庁用管理事務	767万円	消耗品の購入など役場の事務経費に支出しました
まちづくり推進事務	12万円	まちづくりに係る事務を行いました
行政評価の推進	11万円	事業の評価と600人を対象に町民アンケートを行いました
町税賦課事務	645万円	町税を正しく公平に賦課し徴収しました
固定資産評価替事業	206万円	固定資産の評価額を見直すための調査などを行いました
戸籍住民登録事務	131万円	戸籍や住民票などの発行やそれに関連する事務を行いました
戸籍総合システムの管理	258万円	戸籍の作成や証明書の発行事務をシステムで管理しました
住基ネットシステムの管理	15万円	住基カードの発行を22件行いました
総合行政システムの管理	2300万円	住民情報や保険、福祉、税情報をシステムで管理しました
パスポートの発行	17万円	滝川市へ委託しパスポートを93件交付しました
保健福祉車両管理事務	72万円	保健福祉課で使用する車両の管理を行いました
国民年金事務	2万円	国民年金の加入手続きや年金請求の事務を行いました

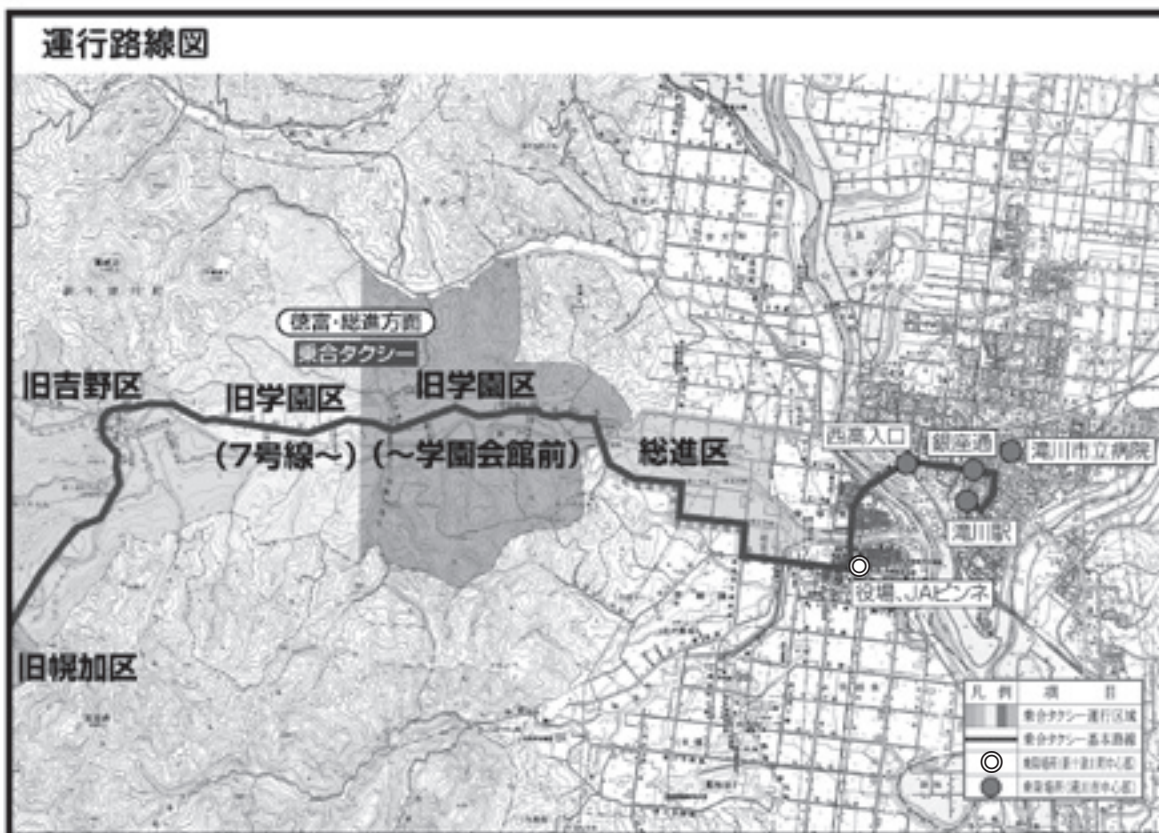
事業名	決算額	実施概要
どの政策にも属さない仕事		
議会議員人件費	4944万円	町議会議員11人の報酬や期末手当、共済費を支出しました
議会の要望活動	22万円	国の省庁などへ要望を行いました
固定資産評価審査委員会	3万円	固定資産評価審査委員会を1回開催しました
土地取引に関する届出事務	6万円	土地取引（売買）後に提出される届出書を6件受理しました
公平委員会の運営	4万円	公平委員会を2回開催しました
税等還付金	224万円	過年度分の修正申告などに伴う税金などの還付を行いました
選挙管理委員会の運営	27万円	選挙管理委員会の運営を行いました
知事・道議会議員選挙の執行	325万円	知事・道議会議員選挙を執行しました
統計事務	2万円	札幌で開催された統計調査研修会に出席しました
学校基本調査	1万円	幼稚園、小・中・高校を対象とした統計調査を行いました
工業統計調査	2万円	製造業者を対象に生産額や就業人数の調査を行いました
経済センサス基礎調査・商業統計調査	26万円	事業所の活動状況や販売額などの調査を行いました
世界農林業センサス	109万円	農林業の就業構造を明らかにするために調査を行いました
国勢調査調査区の設定	7万円	平成27年実施の国勢調査を円滑に行うための準備をしました
監査委員の活動	140万円	町の財政や仕事を監査しました

## 公共施設等 電話番号・FAX番号

施設名		電話番号	F A X	施設名		電話番号	F A X
役場庁舎	住 民 課	76-2130	76-2785	尚 武 館	76-4098	—	
	産 業 振 興 課	76-2134		サンヒルズ・サライ	76-3000	76-3036	
	会 計 課	76-3192		新十津川物語記念館	76-2995	76-2995	
	総 務 課	76-2131		文 化 伝 習 館	76-2991	76-2992	
	建 設 課	76-2139		ピ ン ネ 農 業 公 社	72-2022	76-4102	
	議 会 事 務 局	76-3191		新規就農者技術修得センター	76-4257	76-4257	
	農 業 委 員 会	76-2135		農 林 産 物 加 工 セ ン タ ー	73-2077	73-2078	
保健福祉課・ゆめりあ		72-2000	72-2006	除 雪 セ ン タ ー	76-4302	—	
教育委員会・改善センター		76-4233	76-3223	消 防 支 署	76-2619	76-3716	
総合振興公社・物産館		76-3141	76-3126	西空知広域水道企業団	76-2486	76-3660	
児 童 館		76-2402	74-2402	吉野地区活性化センター	73-2632	73-2632	
新十津川保育園		76-2419	76-2871	社 会 福 祉 協 議 会	76-2600	76-3505	
地域子育て支援センター		72-2088	72-2088	空知農業改良普及センター-中空知支所	74-2281	74-2285	
地域包括支援センター		72-2030	—	新 十 津 川 駐 在 所	76-2610	—	
ス ポ ー ツ セ ン タ ー		76-3390	76-3390	花 月 駐 在 所	74-2012	—	
ス ポ ー ツ ク ラ ブ		76-3470	—	大 和 駐 在 所	76-2573	—	
そ っ ち 岳 ス キ ー 場		76-2075	—	新 十 津 川 郵 便 局	76-2560	76-2064	
温 水 プ ー ル		76-2925	—	橋 本 郵 便 局	76-2960	76-2912	
サンウッドパークゴルフ場		76-2500	—	石 狩 大 和 郵 便 局	76-2901	76-2094	
ピ ン ネ ス タ ジ ア ム		76-3838	—	石 狩 吉 野 郵 便 局	73-2121	73-2465	
新 十 津 川 幼 稚 園		76-4152	76-4003	花 月 郵 便 局	74-2400	74-2530	
新 十 津 川 小 学 校		76-2505	76-3477	札幌開発建設部滝川河川事務所	76-2211	76-2224	
新 十 津 川 中 学 校		76-2161	76-2162	新 十 津 川 土 地 改 良 区	76-2261	76-3336	
新十津川農業高等学校		76-2621	76-2292	新 十 津 川 町 商 工 会	76-2571	76-4445	
給 食 セ ン タ ー		76-2528	76-2671	中 空 知 衛 生 施 設 組 合	75-3800	75-3801	
図 書 館		76-3746	76-4641	空 知 中 部 広 域 連 合	66-2152	66-2138	
開 拓 記 念 館		76-2622	—				

## 乗合タクシー・ワゴンのご利用案内

### 徳富・総進⇔中央・滝川方面 ～乗合タクシー～



- 1 運行会社 新十津川北星ハイヤー
- 2 運行経路 上記運行路線図のとおり  
(運行区域の中の利用者宅と乗降場所との間を運行)
- 3 運行日 毎日運行 (1月1日から3日を除く)
- 4 運行便数 4便/日 (土・日・祝日3便/日)  
予約制 (予約がない場合は運休)
- 5 運行時刻

滝川市 → 新十津川町				新十津川町 → 滝川市			
便名	滝川市	役場	徳富方面	便名	徳富方面	役場	滝川市
①便	(06:15)	(06:30)	(07:00)	①便	(07:00)	(07:30)	07:45
②便	(08:45)	(09:00)	(09:30)	②便	(09:30)	(10:00)	10:15
③便	13:45	(14:00)	(14:30)	③便	(14:30)	(15:00)	(15:15)
④便	16:45	(17:00)	(17:30)	④便	(17:30)	(18:00)	(18:15)

※ 「①便」は、土日祝日運休  
 ※ ( ) 時刻は、予約状況により前後します。

お気軽にご利用ください

6 乗降場所

町内	利用者自宅前、役場前、JAピンネ（本所前）
滝川市内	滝川駅、銀座通バス停留所、滝川市立病院、西高入口バス停留所

※中央地区と滝川間の乗車はできません。

7 利用料金

乗降場所	総進区	旧学園区		旧吉野区	旧幌加区
		～学園会館前	7号線～		
JAピンネ 役場	200円 (100円)	300円 (150円)	400円 (200円)	500円 (250円)	700円 (350円)
滝川市	300円 (150円)	400円 (200円)	500円 (250円)	600円 (300円)	800円 (400円)

- ・隣接地区への利用は200円。以降、地区を越えるごとに100円を加算。
- ・回数券によりお支払いください。（現金での支払いはできません。）
- ・回数券は、車内、セキユメントにてお買い求めください。
- ・小学生以下の運賃は半額です。乳幼児の運賃は、保護者に抱かれるなど、座席を使わない場合に限り無料です。
- ・身体障害者手帳、療育手帳を持っている方の運賃は、半額です。また、第1種障害者の介助者の運賃は半額です。降車時に手帳の提示をお願いします。

8 利用方法

乗合タクシーを利用するためには、「利用登録」と「乗車予約」が必要です。

利用登録は、お電話で乗車予約と同時にすることができます。

電話係員が名前、住所、電話番号などの必要事項を伺いますので、お答えいただくだけで登録は完了します。

○利用登録・乗車予約先 **新十津川北星ハイヤー**  
 予約専用電話 **76-2638**  
 予約専用FAX **76-3085**

○予約受付時間 **8:00～20:00**

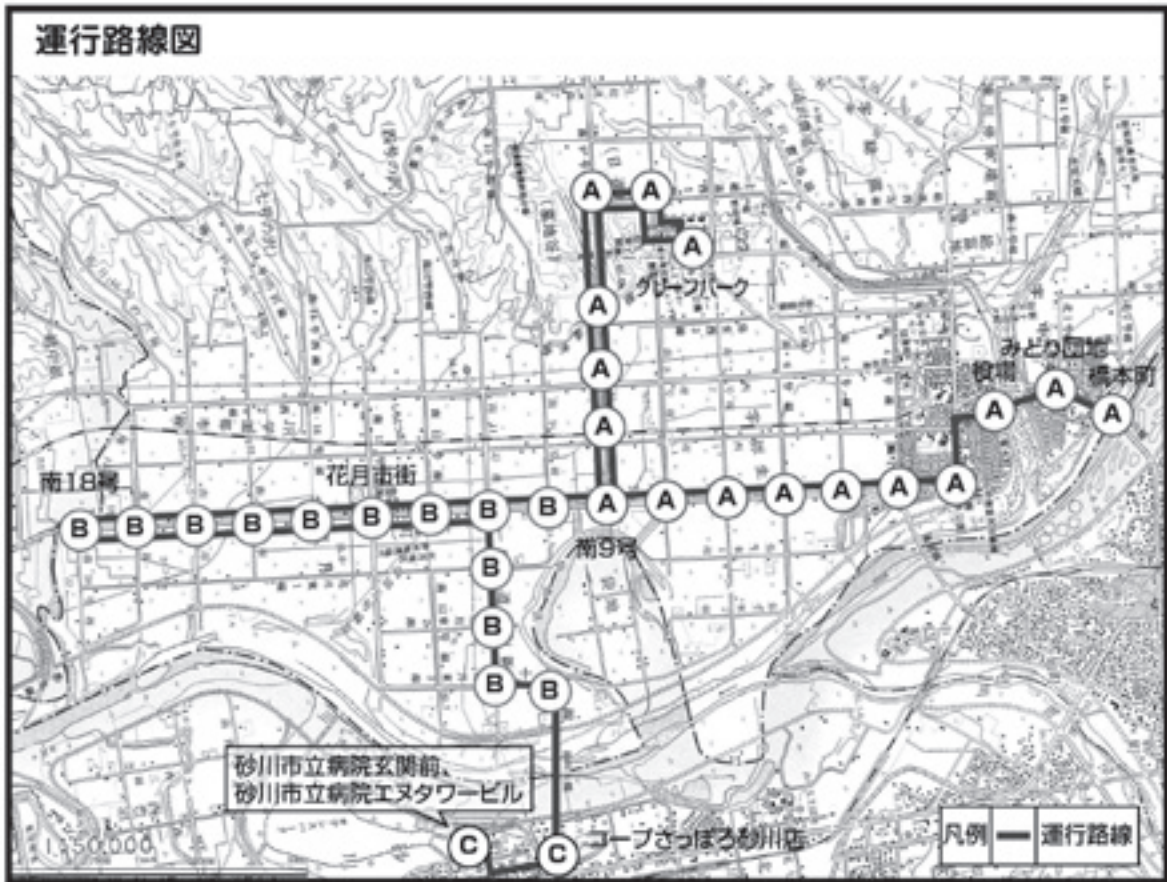
○予約締切時刻

①便	②便	③便	④便
前日の20:00	08:15	13:15	16:15

〈お願い〉乗車できなくなった場合は、必ず予約取り消しの連絡をしてください。

# 乗合タクシー・ワゴンのご利用案内

## 橋本⇄花月・砂川方面 ～乗合ワゴン～



- ❶ 運行会社 誠和運輸
- ❷ 運行経路 上記運行路線図のとおり
- ❸ 運行日 毎日運行（1月1日から3日を除く）
- ❹ 運行便数 平日・土曜3便/日（日曜・祝日2便/日）  
予約制（予約がない場合は運休）
- ❺ 運行時刻

新十津川町 → 砂川市					砂川市 → 新十津川町					
便名	橋本	役場	グリーンパーク	花月 砂川市	便名	砂川市	花月	グリーンパーク	役場	橋本
(平日・土曜)										
①便	(07:40)	(07:45)	(07:58)	(08:18)	08:30	①便	(08:35)	(08:57)	(09:07)	09:20 09:25
②便	12:55	(13:00)	(13:13)	(13:33)	(13:45)	②便	13:50	(14:12)	(14:22)	(14:35) (14:40)
③便	14:55	(15:00)	(15:13)	(15:33)	(15:45)	③便	15:50	(16:12)	(16:22)	(16:35) (16:40)
(日曜・祝日)										
①便	(09:10)	(09:15)	(09:28)	(09:48)	10:00	①便	(10:05)	(10:27)	(10:37)	10:50 10:55
②便	14:55	(15:00)	(15:13)	(15:33)	(15:45)	②便	15:50	(16:12)	(16:22)	(16:35) (16:40)

※ ( ) 時刻は、予約状況により前後します。

お気軽にご利用ください

**6 乗降場所**

町内	橋本町・みどり団地バス停留所、役場前、中央バス停留所、町道交差点、グリーンパーク
砂川市内	コープさっぽろ砂川店、砂川市立病院エヌタワービル、砂川市立病院玄関前



**7 利用料金**

乗降場所	橋本・中央 弥生・総進 (A)	花 月 (B)	砂川市 (C)
橋本・中央 弥生・総進 (A)	200円(100円)	200円(100円)	300円(150円)
花 月 (B)	200円(100円)	200円(100円)	200円(100円)
砂 川 市 (C)	300円(150円)	200円(100円)	—

- ・回数券によりお支払いください。(現金での支払いはできません。)
- ・回数券は、車内、誠和運輸にてお買い求めください。
- ・小学生以下の運賃は半額です。乳幼児の運賃は、保護者に抱かれるなど、座席を使わない場合に限り無料です。
- ・身体障害者手帳、療育手帳を持っている方の運賃は、半額です。また、第1種障害者の介助者の運賃は半額です。降車時に手帳の提示をお願いします。

**8 利用方法**

乗合ワゴンを利用するためには、「利用登録」と「乗車予約」が必要です。利用登録は、お電話で乗車予約と同時にすることができます。電話係員が名前、住所、電話番号などの必要事項を伺いますので、お答えいただくだけで登録は完了します。

○利用登録・乗車予約先 **誠和運輸**  
予約専用電話 **76-2015**

○予約受付時間 **8:00~20:00**

○予約締切時刻

	①便	②便	③便
平日・土曜	前日の20:00	12:30	14:30
日曜・祝日	前日の20:00		—

〈お願い〉乗車できなくなった場合は、必ず予約取り消しの連絡をしてください。



豊かな自然  
あふれる笑顔  
みんなで創る  
いきいき未来



---

年刊 まちづくり読本 ～平成26年度決算説明書～

発行／新十津川町

発行日／平成27年10月

編集／総務課企画調整グループ

<http://www.town.shintotsukawa.lg.jp/>

e-mail [soumuka@town.shintotsukawa.lg.jp](mailto:soumuka@town.shintotsukawa.lg.jp)

---